

2024年9月17日公開

2024年度秋学期 履修ガイド (授業時間割表)

国際教養学部

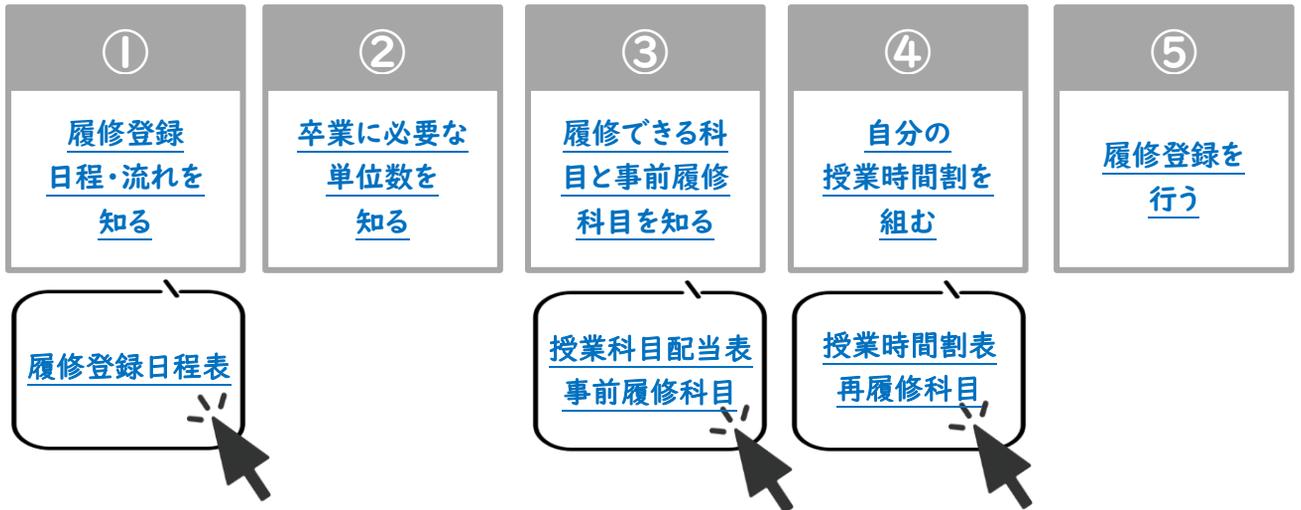
(2020～2024年度入学者対象)

一目で分かる!

学修の流れ

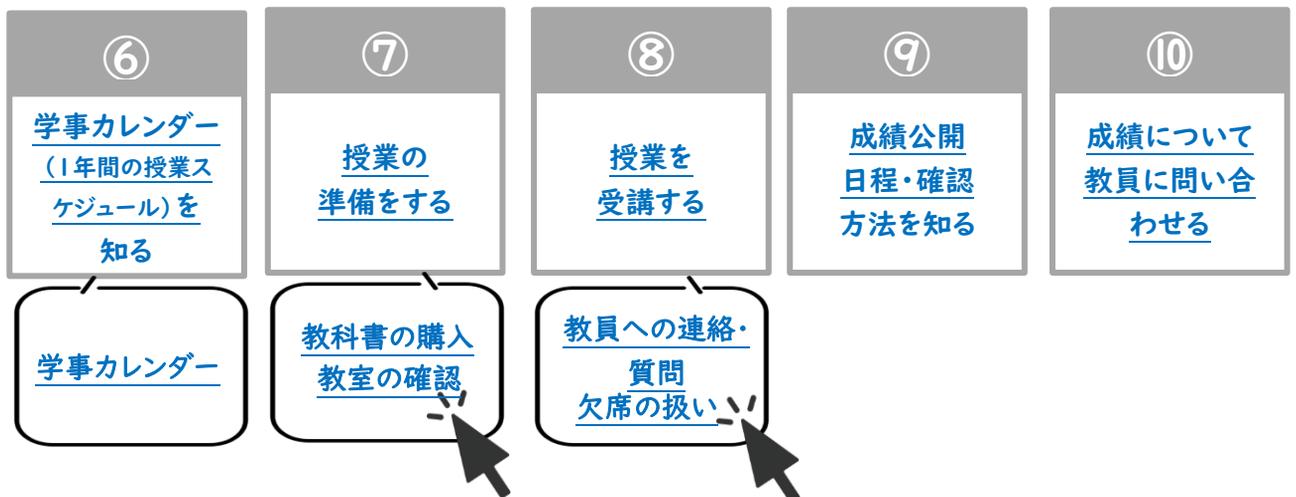
履修・授業・成績・卒業など学修に関わる一連の流れをここで確認しましょう!

履修



授業

成績



成績

卒業



? 履修ガイド(授業時間割表)の活用方法

- その1. パソコンで閲覧すべし!
▶ スマートフォンは読みづらかったり、検索機能が使用できない可能性があります。パソコンで閲覧することを推奨します。
- その2. リンク機能を使用すべし!
▶ 青字をクリックすると、該当のページへリンクします。
- その3. 検索機能を活用すべし!
▶ PDFの「テキストまたはツールを検索」や「Ctrl + F」で、キーワード検索が可能です。わからないことがあったり、情報を探す際にぜひご利用ください。

履修・授業・成績・卒業に関する大学からの連絡は、CUC PORTALで掲示配信されます。

1日1回、CUC PORTAL掲示板を確認する習慣を身につけましょう!

<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/>

CUC PORTAL>ログイン>基本機能>掲示板



目次

千葉商科大学 理念・教育方針.....	5
千葉商科大学 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	6
学部長メッセージ.....	8
国際教養学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	11
国際教養学部 教育課程.....	13
国際教養学部の特色ある教育.....	15
基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群).....	21
履修.....	23
①履修登録日程・流れを知る.....	23
▶ 履修登録日程表.....	23
②卒業に必要な単位数を知る.....	27
▶ 卒業要件.....	27
③履修できる科目と事前履修科目を知る.....	28
▶ 授業科目配当表.....	28
▶ 履修にあたり条件がある科目について.....	32
▶ 事前履修科目.....	33
▶ 単位認定申請方法について.....	35
④自分の授業時間割を組む.....	38
手順1：履修登録できる単位数を確認する.....	41
手順2：授業時間割表を確認する.....	40
▶ 授業時間割表.....	40
手順3：各科目における注意点を確認する.....	48
▶ 再履修科目.....	48
手順4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する.....	49
手順5：自分の時間割を決める.....	49
⑤履修登録を行う.....	50
授業.....	52
⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る.....	52
▶ 学事カレンダー.....	54
⑦授業の準備をする.....	58
▶ 教科書の購入.....	58
▶ 教室の確認.....	59
⑧授業を受講する.....	61
▶ 出席登録.....	61

▶ 遠隔授業の受講.....	62
▶ 休講・補講.....	65
▶ 課題の提出.....	66
▶ 教員への連絡・質問.....	66
▶ 欠席の扱い.....	67
▶ 不正行為.....	68
▶ 授業の受講以外の対応.....	68

成績..... 69

⑨成績公開日程・確認方法を知る.....	69
⑩成績について教員に問い合わせる.....	72
⑪証明書を発行する.....	74

卒業..... 75

⑫卒業者発表日程を知る.....	75
------------------	----

その他 76

千葉商科大学で身につける「CUC3 つの力」と「CUC6 つの能力要素」.....	76
カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ.....	77
ナンバリング.....	79
学籍.....	80
おすすめ検索キーワード集.....	82
内容別 事務問い合わせ先.....	83
よくある問い合わせまとめ.....	84

建学の趣旨

のうりよく そと ちようよう じよ みと ため ところ じんかく ひかり あお てんどう おのずか いた おそ
能力を外にして長幼の序を認め、為にする所なくして人格の光を仰ぎ、天道の自ら至るを恐れ
じんりん まさ よ したが
人倫の當に依るべきに従う。

じんるい いっし そ こうえい ぞうしん ゆうよう がくじゆつ おさ しつじつ きふう やしな ゆ ところ そ てんしよく
人類を一視して其の幸栄を増進し、有用の学術を修め質実の氣風を養い、適く所として其の天職を
まっと
完うせんとす。

建学の精神

こんにちしやうぎやうどうとく たいはい すこぶ かんしん がいこくばうえき ふしん ひつきやうここ きた ゆえ じつ
今日商業道德の頽廢は頗る寒心すべきものあり。外国貿易の不振も畢竟此処より来る。故に実
ぎやうか もの しやうぎやうどうとく ふ こ こと ぶ してきせいしん ちゆうにゆう もっと きゆうむ い
業家となるべき者に商業道德を吹き込み殊に武士の精神を注入するは最も急務なりと謂わざる
べからず。

教育の理念

建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを本学の
教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導
者」を指す。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

高い倫理観

- ◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

幅広い教養

- ◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

専門的な知識・技能

- ◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーを教育の質保証を図るための起点とし、建学の精神および社会の要請に基づく教育の不断の改革・改善に努める。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

本学のカリキュラムでは、実学を重んじ、実社会との連携とアクティブラーニングにより実践力を育成する。

初年次教育

多様な入学者が本学での主体的な学びに適応し、4年間を通じた学修の基礎を身につけ、専門研究へ導入することができるように、少人数での初年次ゼミを実施する。初年次ゼミでは、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、倫理観および実践力を身につけるための「グループワーク」を取り入れる。

基盤教育

全学部の学生が共通して、ディプロマ・ポリシーに定める幅広い教養と高い倫理観を身につけることができるように、初年次より教養、外国語、情報、簿記会計、体育、キャリア及び日本語関連などの基盤教育を実施する。

専門教育

実社会における諸課題を発見し、解決するための専門的な知識・技能を体系的な学修を通して段階的に身につけるために、初年次に基礎的な専門教育を実施し、2年次以降に有用かつ高度な専門的な知識・技能を身につけるための発展的な専門教育を実施する。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を修得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。「研究」、「調査」、「グループワーク」、「グループディスカッション」および「プレゼンテーション」の積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次にその集大成を行う。

さらに、本学では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。

学生の能動的な学修の充実に向け、履修科目の登録上限の設定による1科目あたりの学修時間の増加を図り、単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーの達成のため、カリキュラム・ポリシーを教育課程の編成・実施における重要な位置づけとし、カリキュラム・ポリシーに沿った大学教育の不断の改革・改善に努める。

学部長メッセージ

<目的>

国際教養学部の目的は、みなさんがこれからのグローバル社会で活躍できるように教育を提供することです。

<グローバル社会>

グローバル社会とは国境を越えてヒト・モノ・サービス・カネ・情報が自由に行き交い、相互に影響しあうような世界です。新型コロナウイルスの影響で、対面に替わってオンラインでのコミュニケーションが増加したり、一時的に貿易や投資が停滞したりするなどの変化はあるもの、グローバル化の本質は今後ますます世界に浸透すると考えられます。

<教育と専門性>

グローバル社会で活躍する人材には、異文化を理解し、立場や意見の違いを乗り越えて協働しながら目的を実現するような資質が求められています。異文化理解のためには人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い教養を横断的に学ぶ必要があります。協働のためのスキルとして、論理的思考力、文章作成、プレゼンテーション、チームワーク、問題解決スキル、情報リテラシー、数量的リテラシー、横断的に知識を統合するスキルを身につける必要もあります。海外留学経験は語学スキルを伸ばす機会になるだけでなく、それまでの生き方や考え方を書き換えるような刺激をもたらすでしょう。グローバル社会を構成する一員として、責任ある行動をとり、倫理的思考を研ぎ澄まし、生涯を通じて学習を続ける基盤を有するべきであることは言うまでもありません。これらの教養、スキル、経験、態度を身につけることが国際教養学部の教育の専門性です。

<カリキュラム>

入学式から直行する海外フレッシュマンキャンプで異文化を体感し、海外から日本をみるところから始まります。1年次と2年次前半は留学においてコミュニケーションのための語学と幅広い教養、情報リテラシーや研究やグループワークのスキルを学びます。帰国後の3年次4年次には留学経験を活かしてプロジェクト演習を中心に学ぶカリキュラムを用意しています。3年次にはプロジェクト演習で各教員のもとで集中的に学び、複数の教員のアドバイスを受けながら、横断的知識の統合を文章とプレゼンテーションで表現する4年次の卒業研究は学部教育の総仕上げにあたります。学部が実施する各種の課外プログラム、大学全体の課外プログラムである学長ゼミやサマースクール、国際課が主催する語学研修やTOEICなどのプログラムにも是非参加してください。語学学習の一環として International Squareを定期的に利用することも推奨しています。(2024年度はフレッシュマンキャンプと奄美研修を入れ替えて実施します。)

<国際教養学部主催の課外プログラム(2024 年度予定)>

*チバ・ユニバーシティ・プレスプロジェクト(学生が記者として紙面を製作し、千葉日報に掲載)

*インターカレッジゼミナール(他大学の学生とグループディスカッションを実施)

*国内グローバル異文化交流プロジェクト(外国人留学生などとの交流プロジェクト)

*スプリング・ジャパン社フライトクルー研修体験プロジェクト(航空会社で各種体験プログラム)など

<アクティブラーニング>

学生の主体的で能動的な学修のためのアクティブラーニングを取り入れています。国際教養学部のアクティブラーニングの中には、双方向講義、グループワーク、フィールドワーク、留学、学生が教え合うペアラーニングなどが含まれます。双方向講義とは、教員から受講者への一方向講義ではなく、講義中の質疑応答、リアクションペーパーやレポートやテストに対するフィードバックなど受講者と教員がコミュニケーションをとりながら進める講義です。海外フレッシュマンキャンプや奄美研修、留学、講義内のフィールドワーク、海外の大学と結んだオンライン交流会など経験や観察を通じて学ぶ講義もあります。外部講師の講演や、上級生が下級生にアドバイスするような講義も開講されています。これらのアクティブラーニングは、受講者と教員が共同してつくる講義です。課外プログラムはアクティブラーニングを中心に実施されています。

<就職支援と進路>

1年次から始まるキャリア教育は、将来の目標を明確にし、就職活動に必要な知識を増やし、モチベーションを高め、納得感のある就職にむけてサポートします。国際教養学部ではキャリア関連の講義を実施するだけでなく、インターンシップや就職活動に関するアドバイスを提供しています。皆さんの先輩たちは、メーカー、商社、小売り、金融、サービス、IT、自治体など幅広い分野に就職しています。国際教養学部では幅広い教養と実践的なスキル、経験や姿勢を身につけることで、「世界で働き」「世界と働き」「世界をもてなす」ような幅広い分野に進むことができるでしょう。また、キャリア支援課では1年次から参加できる各種のキャリアイベントを実施しています。将来の視野を広げるという意味でも1年次から各キャリアイベントに参加することを推奨しています。また、留学での経験を将来に活かせるように接続するプログラムも実施します。

<学修姿勢>

積極的な学修姿勢を求めます。積極的な学修とは、学修の目的を明確にし、予習や復習、講義内での質問を通じて理解を深め、課題や書類の提出期限を守り、学生同士相互に尊重するとともに切磋琢磨し、フィードバックを活かす学修を意味します。講義時にわからないことを探し、質問し、理解を深める習慣をつけましょう。留学した先輩たちは、海外の学生が気軽に質問し、それが普通ということに驚くようです。国際教養学部では質問する学生をポジティブに評価します。受講者の質問には担当教員が丁寧に回答します。専任教員は毎週1回受講者が自由に質問できるオフィスアワーを設けています。オフィスアワーも積極的に活用してください。履修上の問題については事務局に質問してください。

<学生生活>

学生時代はその後の人生を形成する非常に重要な時期です。学習だけでなく、学外での活動も十分に楽しんでください。国際教養学部はグループワークなどで学生と一緒に学習する機会の多い学部です。学生相互が意見や立場の違いを超えて尊重し合い、人格や品位を醸成する場であることを自覚してください。最近では大学生を狙ったトラブルに巻き込まれてしまう学生もいます。トラブルには、アルバイト、宗教、詐欺、SNS、情報漏洩、飲酒、交通事故、薬物、暴力などが含まれます。これらの問題に直面した場合には、事務局に相談してください。

2024 年度入学のみなさんは国際教養学部の最後の入学者です。卒業するまでカリキュラムを維持することを約束します。気になることなどがあれば気軽に相談してください。

国際教養学部長 山 田 武

国際教養学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

国際教養学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

国際教養学部では、「世界で働く」「世界と働く」「世界をもてなす」人材育成を目的とする。この目的を実現するために、「日本とアジアを中心とした地域を基盤に、世界を知り相互理解を深め、実践的な外国語運用能力と情報リテラシーを用いて、多様性の中で情報を選別し、学問的理論に裏付けられた分析を通して物事を的確に判断して行動できる」ようになることを目標とする。国際教養学部が定める所定の単位を修め、以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

高い倫理観

- ◆グローバル社会において、異文化理解に努め、相互を尊重しつつ問題解決に努める使命感と行動規範。
- － 国際教養科目群、国際教養入門科目群、国際教養専門科目群、セミナー科目群、留学科目群の卒業要件単位の修得により評価する。

幅広い教養

- ◆日本、周辺地域、世界について、幅広い教養を身につけ、異文化や多様性を理解する能力(異文化理解力)
- ◆留学経験や身につけた教養を活かして、未知の状況や課題に対しても、積極果敢に取り組むチャレンジ精神や主体性を持って行動できる力(海外経験)
- ◆さまざまな学問領域を横断的に学び、海外経験などとあわせて、課題発見解決に活用することができる。
- － 国際教養科目群、国際教養入門科目群、国際教養専門科目群、セミナー科目群、留学科目群、CUC基盤教育科目群の卒業要件単位の修得により評価する。

専門的な知識・技能

- ◆英語または中国語について会話力を中心とした実践的な語学力(コミュニケーションのための語学力)
- ◆必要な情報を正しく収集、分析し、自らの考えや意見を自律的に発信できる力(情報発信力)
- ◆自らリーダーシップをとり、他者を巻き込んで、他者と協調して課題に取り組む力(問題解決能力)
- － 国際教養専門科目群、外国語科目群、情報科目群、キャリア科目群、留学科目群の卒業要件単位の修得により評価する。

国際教養学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

国際教養学部では、激動する世界で活躍するグローバル人材を養成するという目的を実現するため、4年間の教育を通じて段階的に学修することで、知識とスキルを磨き、学問的な考え方を学び、人間としても成長できるカリキュラムを実施する。また、科目間の相関を見える化した国際教養学部のカリキュラムマップを作成し、各自の興味関心や将来の進路にあわせて適切な科目選択を促進する。

留学前には「国際教養学」を学ぶ上での基本となる知識を身につける「国際教養入門科目」を配置し、留学に向けて各種の科目を設置する。留学後には、留学経験を踏まえ、グローバル社会を理解し、問題発見解決能力を高めるために「国際教養専門科目」や「プロジェクト演習」を配置する。また、国際社会で活躍するためには、自らのアイデンティティーの重要性に鑑み、「日本を知る」「アジアを中心とした地域を知る」「世界を知る」の順番で視野が広がるように段階的に講義を配置する。

全学部共通カリキュラムであるCUC基盤教育科目群の科目を通じて本学の学生として基盤となる知識の獲得と能力の醸成を行う。

初年次教育

◆高校から大学での学びに発展させるために「研究基礎」などを設置する。また、1年次には毎週ホームルームを実施する。

入学式直後に実施する「海外文化研修(海外フレッシュマンキャンプ)」、大学での学修のスキルを身につけるための「アカデミック・スキル」、「グループワーク入門」などを設置する。

国際教養教育

◆1・2年次には国際教養学の基礎を学ぶための「国際教養入門科目」、3・4年次を中心に「国際教養専門科目」を配置する。

語学教育

◆1年次に留学先を念頭に、英語または中国語を選択し、実践的な外国語運用のための語学を学ぶ。また、語学力の見える化のために民間の語学試験等の受験を義務づける。3年次4年次に英語や中国語で学ぶ専門科目に備える。

専門教育

◆1年次の「キャリア入門」から始め、「世界で働く」「世界と働く」「世界をもてなす」仕事に繋がるように、各種のキャリア科目を段階的に設置する。

2年次後半には、全学生がそれぞれの個人目標や研究テーマを持って留学する、「海外研修(必修海外留学)」を実施する。また、3・4年次には1・2年次に培った教養、スキル、学術的な考え方、そして留学経験を統合して学ぶこととし、「プロジェクト演習」や「卒業研究」を実施する。

ゼミナール教育

◆1・2年次には「研究基礎」や「国際教養学演習」、3・4年次には「プロジェクト演習」や「卒業研究」などゼミナール形式で開講する。

上記以外にも学部独自の取り組みを実施する。

1. 『クォーター制』1年を4学期に分けたクォーター制を実施する。週2回授業を行うことで学修の効果が高まり、関心にあわせて柔軟に段階的に学ぶことを可能としている。
2. 『アクティブラーニング』異文化交流で求められる積極性を身につけるために、入学式直後の「海外文化研修(海外フレッシュマンキャンプ)」、2年次以降の「海外研修(必修留学)」、各種フィールドワークなども含め様々な科目でアクティブラーニングを導入する。
3. 『少人数教育』きめ細かな教育のために、外国語科目やセミナー科目、情報科目などでは少人数のクラスで講義を実施する。
4. 『企業との連携によるキャリア教育』学生がグローバル社会で活躍できるよう、企業と連携をしたキャリア教育を実施し、企業が持つ知識や経験をキャリア教育などにも活用する。
5. 『国際課の活用』CUC サマープログラム、海外語学研修などの本学全体で行われる国際交流イベント、International Square を学生が積極的に活用するように連携する。

科目の区分

科目区分は、「CUC 基盤教育科目群」、「国際教養科目群」、「国際教養入門科目群」、「国際教養専門科目群」、「外国語科目群」、「情報科目群」、「キャリア科目群」、「セミナー科目群」、「留学科目群」、「単位互換科目群」、「自由科目」から構成されています。

科目の概要

【CUC 基盤教育科目群】

詳細は、[基盤教育機構](#)を参照してください。

【国際教養科目群】

国際教養学部の幅広い専門分野を持つ教員が講義を行い、多角的な視点から幅広い視野で国際理解のための知識を学ぶ科目です。国際教養学部の基幹科目群であり、国際教養学とは何か、真の国際人に必要な知識・能力とは何かを学び、4年間の学修の主軸としていきます。

【国際教養入門科目群】

本学部が目指す異文化理解のための幅広い教養を修得するために、本学部が提供する学問領域の入門的な知識を学びます。法学、経済学などの社会科学、文化、情報などの分野での教養科目を配置しています。このような学びを通じてさまざまな学問分野の基礎を修得し、自らの進路を定めると同時に、2年次以降に何を中心に学ぶのか、セミナー科目において何をテーマに研究するのかを考えます。

【国際教養専門科目群】

国際教養入門科目群で学んだ幅広い教養に関する基礎的な知識をもとに発展的な科目を設定し、国際理解を進められるようにします。

【外国語科目群】

海外での研修に必要なコミュニケーション力修得を目指し、英語または中国語を学びます。

【情報科目群】

大学における情報の扱い方、情報収集の方法、リテラシーなどの基礎を修得し、課題や目的に応じて情報手段を適切に選択するための知識を学びます。さらに、必要な情報を主体的に収集・判断・処理・創造・表現し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を身につけます。

【キャリア科目群】

一人ひとりが卒業後の進路を見据えて学生生活の目標と計画を立てられるよう指導し、2年次以降に企業研究を進めます。

【セミナー科目群】

1年次から4年次までの必修科目からなっており、アクティブラーニングの基幹をなすものです。複数名の教員が一組となって指導を行い、多角的な視点から幅広い視野で思考する能力を養います。また、複数名のグループに分かれて、それぞれのテーマについて研究を遂行することで、協調性やコミュニケーション能力を向上させることができます。

【留学科目群】

アジア、世界を学修のフィールドとして研修プログラムを実施します。それぞれのプログラムは事前学習、事後学習を行い、研修期間中の学びの有効性を向上させます。

【単位互換科目群】

海外留学など本学以外で修得した単位について、学部で認められた場合に限り単位互換科目として、本教育課程における単位修得とすることが可能です。別途手続きが必要となりますので、手続きの詳細は教務課にて確認してください。

【自由科目】

履修・修得した場合でも卒業要件には算入されない科目です。

資格取得単位認定

下表の認定科目は、該当資格を取得し、大学に申請することで単位を認定することができます。申請期間等の詳細については、[単位認定申請方法について](#)を参照してください。

学部	該当資格	認定科目	認定時期	注意事項
【国際教養学部】 (2020年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次～	
	実用英語技能検定準2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 1科目選択可能	英語(A)I	1年次 秋学期～	■英語(A)・(B)I・IIについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要のある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は1科目となります。
		英語(B)I		
	実用英語技能検定2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 2科目選択可能	英語(A)II	2年次 春学期～	
英語(B)II				

その他

国際教養学部生は、CUC 基盤教育科目群 体育科目からは1単位のみ卒業要件に算入することが可能です。

(1) 国内短期研修と海外フレッシュマンキャンプ

【国際教養学概論Ⅲ（国内短期研修）】

奄美大島は地政学的には米国の防衛線上に位置し、2001年には北朝鮮の工作船との銃撃事件が勃発するなど、戦略的拠点になっています。また、特産のサトウキビから作る黒糖が明治維新を推進した薩摩藩の重要な財源になるなど、日本の近代史上重要な役割を果たしてきました。言語や文化は薩摩と琉球のはざままで特異性を有し、独自の生態系を形成する自然環境と合わせて多様性を保っています。首都圏からとは世界の見え方の様相を異にするこの島で、フィールドワークやテーマ研究を組み込んだ体験的学修を実施することにより、日本とは何かについて深く考察します。

【海外文化研修（海外フレッシュマンキャンプ）】

国際的な教養を身につけるためには、机上の知識のみならず経験によって得られる知見が必要になります。1年次に海外に行き、外国の文化を体験的に知り、現地の人々と現地の言葉を使用しての交流を行います。

研修先では現地学生と協同で企画を実施し、この研修を通して国際的な教養を身につけることの意義と課題を理解してもらい、その後の学修への意識を高めることを目的としています。

各研修の準備

各研修は必修科目として設定されています。研修中の活動の他に、研修前後の講義を合わせ、1つの科目として構成されています。

研修のための手続き、研修中の授業外学修、研修後の課題作成や発表など、すべてが学修機会になりますので自覚を持って取り組んでください。

なお、詳細については、事前講義等にて説明します。

各研修の実施期間

【国内短期研修】

4月7日～9日（2泊3日）

【海外文化研修】

9月24日～28日（4泊5日）

※実施時期や宿泊日数等は変更となる場合があります。

各研修の学びと評価方法

各研修の学びと評価方法の詳細については、各自シラバスを参照してください。

(2) 海外研修プログラム

(ア) 海外研修プログラムの概要

海外研修の目的は、語学力の向上を図ることはもとより、海外での様々な異文化経験を通して、実体験に基づいたグローバル・マインドを養成すること、様々な状況に適応できる人間力を育むことにあります。国際教養学部では、2年次以降、海外の提携大学に研修（留学）することを全員必修としています。自身の学修計画に沿って、短期・中期・長期から期間、渡航先を選び、研修に参加します。

(イ) 海外研修プログラムの種類

期間	特徴	修得単位
短期 (2週間程度)	夏季休暇・春季休暇中に実施される、学部指定の語学研修プログラム（国際課主催）に参加。研修が授業期間外に実施されるため、2年次3, 4クォーターの科目履修が可能です。	海外研修(2単位)
中期 (約3ヶ月)	語学学修に加え、現地で調査・研究活動を行います。研修前後には講義、報告会などを実施します。講義では各自で研究テーマの設定を行い、教員から研究に関する指導を受けます。	海外研修(2単位) 海外フィールドワーク実習 (8単位)
長期 (6-9ヶ月) ※英語選択者のみ	語学力が十分にあることを前提に、協定先大学の学部に留学し、専門科目を中心に履修、単位修得します。※参加には本学の学費（留学・研修費）に加え、研修費、滞在費等の負担があります。	海外研修(2単位) 海外フィールドワーク実習 (8単位) 協定先大学で修得した科目を本学の卒業に必要な単位として認定 ※卒業要件には、最大20単位まで算入可能

(ウ) 参加までの流れ

		1年次															
期間		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
短期	語 種 選 択	語 学 テ ス ト	<参加申込> <参加決定> 語学テスト										<オリエンテーション> 語学テスト				
中期			<参加申込> <参加決定> 語学テスト										<事前学習> 語学テスト				
長期			<参加申込>				<参加内定>				<参加決定>				<事前学習> 語学テスト		

<参考> ~CEFR について~

CEFR (外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠) は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、2001年に欧州評議会が発表した。CEFR が示している6段階の共通参照レベルの記述は右記のとおり。

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいしての事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単な日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表现と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

参加条件 ※原則として 2 年次に研修参加	
<ul style="list-style-type: none"> 1 年次に 38 単位以上修得していること。(3 年次に参加する場合は 2 年次終了までに 50 単位以上修得) 国際課の参加条件を満たすこと。 	
<ul style="list-style-type: none"> 1 年次に 38 単位以上修得していること。(3 年次に参加する場合は 2 年次終了までに 50 単位以上修得) 2 年次に「留学入門」を履修・単位修得していること。 英語選択者はケンブリッジ リンガスキルテスト Average Score120 点を保有していること。 ※CEFR A2 程度 (TOEIC(L&R)テスト 385 点程度) ※上記スコアに代えて、入学年度の前年 4 月から研修申込までに以下の検定・資格を取得している場合には研修参加を認めることがある。*実用英語技能検定 準 2 級 / *TOEIC(L&R)テスト 385 点など 	
<ul style="list-style-type: none"> 1 年次に 38 単位以上修得していること。 本学部の設定する参加基準 (GPA, 語学力等) を満たしていること。 協定先大学・学部の入学基準 (GPA, 語学力等) を満たしていること。 ※語学力の目安は、CEFR B2 程度 (TOEFL iBT 72 点, IELTS 6.0 程度) 	

※参加条件は変更となる場合があります。

2年次						3年次											
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
研修		<参加申込> <参加決定>				研修		※夏季、春季のいずれに参加									
		語学テスト						語学テスト									
研修						<事後学習>											
						語学テスト											
研修						<事後学習>											
						語学テスト											

(エ) 海外研修の準備

- ・入学時に専攻語種を選択します（英語または中国語）。中国 上海立信会計金融学院と台湾 東呉大学での研修参加を希望する場合には中国語を、それ以外の大学での研修参加を希望する場合には英語を選択してください。
- ・中期研修ならびに長期研修に参加する場合は、研修前後に講義を実施します。研修先の国について多角的に調べ、考え方の違い、現地で気を付けるべきこと、マナー等についても学習し、研修に備えます。また、海外で日本の政治、経済、歴史、地理、社会、文化、教育等について話したり、書いたりできるように訓練します。
- ・海外研修プログラムに関しては、1年次より説明会を順次実施しますので、必ず参加してください。参加にあたっての注意事項やサポート体制などについても説明します。
- ・研修先決定には学業成績(GPA)、語学力、面接等の選考結果を総合的に評価して決定します。なお、各大学の受け入れ人数の上限を超えて希望者が集中した場合や、研修先の受け入れ要件によって、希望に添えない場合があります。

(オ) 世界各国の研修先（年度によって開講しない研修先あり）



※各プログラムについては入学後のガイダンスでお知らせします。

アメリカ — ウォッシュバン大学

カンザス州の州都トピカにある教養学、応用学、ビジネス、法律、看護学部を擁する 1865 年創立の総合公立大学。65 ヘクタールの広大なキャンパスで 7000 人を超える学生が学んでいます。ノーベル賞受賞者など多くの著名人を卒業生として輩出しています。

イギリス — ハイランド&アイランド大学パースカレッジ

スコットランドにある幅広い教育や職業訓練のコースを提供する、1961 年創立の公立大学。13 の大学や 70 の研究センターが集まっており、社会人向けの通信教育も充実。また、パースカレッジはスコットランドで最も住みたい町ナンバーワンになったパースに位置しています。

インド — サー・パダンパット・シンハニア大学

2007 年創立の工学と経営学に特化した全寮制の大学。インドで最も美しい保養地として有名なウダイプールにキャンパスがあります。

カナダ — バンクーバーアイランド大学

1969年に開校した公立大学。4つのキャンパスを持ち、経営学、社会科学、工学、芸術学など多くの学部があり、留学生約1,100人を含めた18,000人以上もの学生が在籍しています。メインキャンパスのあるブリティッシュコロンビア州ナナイモは美しい自然に囲まれた町であり、バンクーバーやビクトリアなどの主要都市へのアクセスも便利な立地です。

ニュージーランド — ワイカト大学

1964年に開校したワイカト大学はQS World University ランクのトップ1.1%に位置しており、特にコンピューターサイエンス、経済学、法律学、教育学、社会科学などの分野で高い評価を得ています。世界70ヶ国以上からの留学生約2,000人を含めた約12,000人の学生が学んでいます。

マレーシア — アジア・パシフィック大学

クアラルンプールの郊外にある、ITや工学に強い大学で、他にもビジネス、ファイナンス、デザイン、などの学部が充実しています。約11,000人の学生のうち半数以上は留学生という、とても国際的な大学です。マレーシアに特有な多民族・多文化を体感でき、近代的なデザインのキャンパスで学ぶことができます。

台湾 — 東呉大学

台北に位置し、文学、理学、法学、商学、外語学院の5学院23学科を擁する台北初の私立総合大学。特に法学院は歴史が古く、高い知名度を誇ります。

中国 — 上海立信会計金融学院

1928年私立の専門校として創立。現在は中国財政部直属の公立校で、2016年に上海立信会計金融学院に校名変更。中国で数少ない「会計」と名付けられる高等教育機関として、中国経済界に多くの卒業生を送り出しています。

(カ) その他の海外研修プログラム（全学部共通プログラム）

ダブル・ディグリーのプログラム

千葉商科大学で所属する学部と中国の上海立信会計金融学院の指定の学部で学籍を有し、4年間でそれぞれの所定の卒業要件単位を充足し、双方の学位を修得するためのプログラムです。参加には選考試験があります。本学部においては中国語を選択することで4年間の在籍での卒業が可能となります。プログラムの詳細については、ガイダンスなどで確認してください。

交換留学

本学の交換留学制度に基づき、海外協定先大学において学修を行う制度です。現地では専門科目を履修します。現地で修得した単位は、審査のうえ本学の卒業に必要な単位として認定することが可能です。本学部においては教育効果を鑑み、「海外研修」の単位修得後に交換留学への参加を認めています。また、参加には本学ならびに派遣先大学で求められる選考資格を満たすことが求められています。

(3) ホームルーム

国際教養学部では、1年次の学修について、定期的に学生とナビゲーター（指導教員）が相談しながら設計する「ホームルーム」制度を導入しています。学生と教員が個別相談する機会を持ち、将来の目標や目的にふさわしい学修ができるよう、学びの方向性を相談していきます。実施時期やナビゲーターについては、別途告示及びガイダンス等でお知らせします。

(4) アドバイザリーボードによる教育の評価、改善

国際教養学部では学部教育に対し助言や評価をいただくため、アドバイザリーボード（委員会）を有しています。グローバルに事業展開している企業が中心となっているアドバイザリーボードのメンバーには講演の実施や学修成果発表会への参加、会議等を通じて助言をいただいています。これからの活動を通じ、企業が求めるグローバル人材像の理解を図り、学部教育の評価、改善を行っています。

基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群)

基盤教育機構 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」（大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者）としての基盤を形成するため、全学部の学生が共通に学ぶ「CUC基盤教育科目群」を設ける。

CUC基盤教育科目群では、主として、ディプロマ・ポリシーに定める「幅広い教養」及び「高い倫理観」を身につけるため、次のとおりカリキュラムを編成し実施する。

共通教養科目

多様な学問の核心に触れることで、治道家たるにふさわしい知の基盤を築く。すなわち、現実社会の諸問題を発見し分析する上で基盤となる知識や方法を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野にもとづき、高い倫理観をもってものごとを判断する力を育む。この目的のために、人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。各学問の考え方をより体系的に理解し修得できるように、主として講義形式にて実施する。

外国語科目

多様な言語や文化を背景に持つ人々と協働する上で基盤となる外国語に関する普遍的な知識・技能を身につけるために、各種の外国語からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。特に、英語及び中国語については、基礎的な内容に加え、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。コミュニケーション力と実践力を培うとともに、より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、少人数での演習または講義形式にて実施する。

情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、情報社会において必要となる情報を正しく扱う行動規範（情報倫理）を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。実践力を培うことができるように、主として、コンピュータを用いた演習形式にて実施する。

簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。さらに、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、演習を取り入れた講義形式にて実施する。

体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。主体性とチャレンジ精神を育むとともに、コミュニケーション力を培うことができるように、主として、実技形式にて実施する。

キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成し実施する。主体性と社会規範意識を育み、コミュニケーション力と実践力を培うことで、多様な人々との協働に必要な人間性を形成することができるように、主として、演習または講義形式の授業を実施する。

日本語関連科目

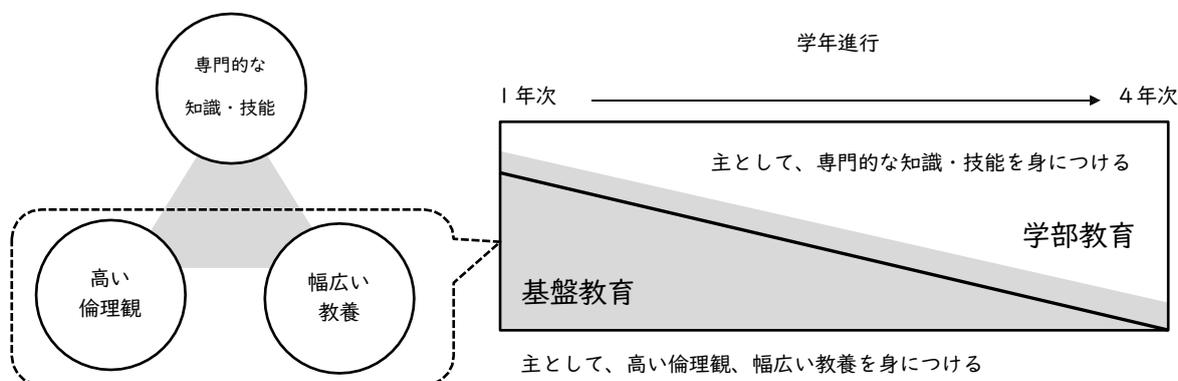
大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。レポートや論文などで自らの考えや意見を論理的に表現する力を培うとともに、留学生を対象とした授業においては、「読む」「聴く」「書く」「話す」という4技能を取り入れた内容を通じて、コミュニケーション力と実践力を培う。主として、演習または講義形式にて実施する。

上記の各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。また、社会の要請及び学生のニーズにもとづき、定期的なカリキュラムの点検及び見直しを行う。

基盤教育機構 教育編成

千葉商科大学では、全学部生の基盤教育として、「CUC 基盤教育科目群」を各学部の卒業要件科目に配当しています。本学卒業生に必要とされる「CUC3 つの力（専門的な知識・技能、高い倫理観、幅広い教養）」のうち、主に「高い倫理観」と「幅広い教養」に重点を置いたカリキュラム構成となっています。

<学部教育と基盤教育の役割と学年進行のイメージ>



基盤教育機構 科目区分

CUC 基盤教育科目群は、7 つの科目区分から構成されます。各科目は卒業要件単位数として算定されます。学部によって卒業要件区分単位数が異なりますので、各学部別の卒業要件を確認してください。

ア. 共通教養科目

人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成しています。

イ. 外国語科目

6 つの言語（英語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語）からなるカリキュラムを編成しています。

ウ. 情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得することを目的としたカリキュラムを編成しています。

なお、「情報入門」は必修科目として配当しています。

エ. 簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

オ. 体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

カ. キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成しています。

キ. 日本語関連科目

大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

履修

■履修登録とは

履修登録とは、学期の初めに、その学期の学修計画に基づき決定した授業科目を各自で登録する最も重要な手続きの一つです。時間割の作成と履修登録の手続きは各自の責任で行う必要があります。

履修ガイド（授業時間割表）やシラバスをよく確認し、自身の学修計画に従って責任をもって履修登録を行ってください。

①履修登録日程・流れを知る

以下履修登録日程を確認の上、履修登録を行ってください。

履修登録期間外は、いかなる理由であっても履修登録や修正を受け付けませんので、十分注意してください。

※CUC PORTAL は毎日午前 3:00～午前 5:00 はシステムメンテナンスのため利用できません。履修登録を行う際には留意し、時間に余裕をもって申請してください。

※アクセスが集中している時は繋がりにくくなりますので、時間をおいて行ってください。

【履修登録日程表】

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
9月17日(火)12時以降	【希望者のみ対象】単位認定申請（第2期申請）※詳細は「 単位認定申請について 」参照			
10月1日(火)9:00	事前履修科目公開	-	-	・CUC PORTAL「学生時間割表」画面より事前履修科目の登録状況を確認できます。 （履修することが決まっている事前履修科目は、自分で履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています）
1年生 10月1日(火)10:00 ～10月4日(金)13:00	<u>一次履修登録期間</u> <u>(抽選)</u>	変更不可	登録可能	・CUC PORTAL「抽選希望登録」画面より定員設定科目の申し込みが可能です。 ・申込数が定員数を超過した場合、抽選で履修当落が決定します。
2年生 10月1日(火)12:00 ～10月4日(金)13:00				※期間中は登録内容の変更が可能です。 ※学年毎に期間が異なります。
3年生 10月1日(火)14:00 ～10月4日(金)13:00				
4年生 10月1日(火)16:00 ～10月4日(金)13:00				
10月1日(火)以降	教科書販売開始 ※詳細は「 教科書の購入 」参照			

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
10月5日(土)9:00	抽選結果発表	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・CUC PORTAL「学生時間割表」画面より抽選科目申込結果の確認ができます。 ・抽選で当選した科目のみ、時間割表へ登録され、落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行いません） ・落選した場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。
1年生： 10月7日(月)13:00 ～10月9日(水)13:00	<u>二次履修登録期間</u> <u>(先着)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	<ul style="list-style-type: none"> ・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※学年毎に期間が異なります。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。
2年生： 10月7日(月)12:00 ～10月9日(水)13:00				
3年生： 10月7日(月)11:00 ～10月9日(水)13:00				
4年生： 10月7日(月)10:00 ～10月9日(水)13:00				
10月11日(金)	秋学期授業開始			
10月17日(木)10:00 ～10月23日(水)13:00	<u>三次履修登録期間</u> <u>(修正)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	<ul style="list-style-type: none"> ・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。
11月20日(水)10:00 ～11月22日(金)13:00	履修取消期間	変更不可	登録不可 取消可能	<ul style="list-style-type: none"> ・履修科目の取消が可能です。追加はできません。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。 ※国際教養学部の3Q・4Qに開講されている科目は取り消しできません。

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
国際教養学部生のみ 12月4日(水)10:00 ~12月6日(金)13:00	4Q 履修修正期間	変更不可	登録可能 削除可能	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教養学部で開講されている4Q開講の選択科目と、4Q開講の必修科目の一部（再履修科目のみ）において、追加および取消が可能です。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ※国際教養学部の3Qに開講されている科目、基盤教育機構のセメスター科目は追加・取り消しできません。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。

Q A よくある問い合わせ

Q 一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。

A 二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q 履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。

A 履修登録期間外は、一切履修を変更できません。
履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上ご判断ください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。

A 履修登録が完了していない科目は、出席できません。
ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。

A 履修登録完了後、担当教員にお問い合わせください。教員によっては、すでにクラスプロファイル授業資料などから資料を公開している可能性もございます。

Q 履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。

A 履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

②卒業に必要な単位数を知る

本学に4年（3年次編入学した者は2年）以上在学（休学期間を除く）し、以下に掲げる卒業要件を充足して、124単位以上修得した者は卒業が認定されます。

卒業するためには、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を修得することと、合計で124単位以上修得する必要があります。

ただし、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を合計しても、124単位には足りません。興味を持ってより深めたいと思った科目群などを多く履修し、合計単位数を満たす必要があります。

気になる人はチェック

☞卒業要件科目の科目群の説明など詳細を確認したい場合は、[教育課程](#)を確認してください。

【2020年度～2024年度入学者】卒業要件

区分	単位履修要件		
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	0単位以上
		社会科学	0単位以上
		自然科学	0単位以上
		小計	2単位以上
	外国語科目		8単位以上
	情報科目		4単位以上
	簿記会計科目		0単位以上
	体育科目		0単位以上
	キャリア科目		0単位以上
	日本語関連科目		0単位以上
	小計	14単位以上	
国際教養科目群		8単位	
国際教養入門科目群		20単位以上	
国際教養専門科目群		24単位以上	
外国語科目群	英語または中国語	8単位	
情報科目群		3単位	
キャリア科目群		3単位	
セミナー科目群		20単位	
留学科目群		4単位以上	
卒業必要単位合計		124単位以上	

※上記以外に、任意選択（どの科目群の選択科目でもよい）科目20単位が卒業要件単位に算入され、合計124単位となります。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

授業科目の種類

授業科目には、次のとおり 4 種類の区分があります。

授業科目の種類	説明
必修	単位を修得しないと卒業できない科目です。 「所属学部（学科）の学生として欠かすことのできないこと」を学ぶ科目になりますので、特に意欲的に学びましょう。
選択必修	選択科目のうち、決められた科目群から自身で選択して、一定の単位数を修得しなければならない科目です。 ※所定の単位数を超えて修得した単位については、選択科目の単位数として算入されます。
選択	必修・選択必修以外の科目です。
自由	単位は修得できますが、卒業要件単位数には算入されない科目です。

履修できる科目（授業科目配当表）

原則として、履修できる科目は授業科目配当表に記載のある科目となります（この他、単位互換科目、自由科目、特別講義があります）。

授業科目配当表に記載のない科目の単位修得をしても卒業要件には含まない場合があります。入学年度ごとにカリキュラムが異なりますので、履修登録の際には注意してください。

【授業科目配当表】

②「授業科目配当表」の確認方法

・科目名の後に記載されている（ ）の数字は、科目の単位数です。

（例）アジアの歴史（2） → 単位修得時には 2 単位修得となる

・列の縦線が引かれていない枠は、すべて第 1 年次～第 4 年次いつでも履修可能です。

（例）下図の太枠で示される科目は第 1 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次 科 目（単位）	第 2 年次 科 目（単位）	第 3 年次 科 目（単位）	第 4 年次 科 目（単位）
人文 科学	必修	アジアの歴史(2)	近代日本文学(2)	性格心理学(2)	ヨーロッパの歴史(2)
		アメリカの文学と文化(2)	美学への招待(2)	世界の文学(2)	倫理学(2)
		イギリスの文学と文化(2)	言語学(2)	哲学(2)	歴史学入門(2)
		イスラーム・アラブ文化論(2)	現代中国の思想(2)	日本史(2)	論理学(2)
		演劇(2)	古典日本文学(2)	日本の文化(2)	海外短期文化研修Ⅰ(2)
		音楽史(2)	社会思想史(2)	東アジア文化論(2)	海外短期文化研修Ⅱ(2)
		カウンセリング心理学(2)	宗教学(2)	美術史(2)	海外長期文化研修(4)
		教育学(2)	心理学入門(2)	Film Studies(2)	
		観光文化論(2)	国際関係論(2)	高学と倫理(2)	日本政治史(2)
		共 通			

・列の縦線が引かれている枠は、縦線の右に記載されている年次以降履修可能です。

（例）下図の太枠で囲まれている科目は第 2 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次 科 目（単位）	第 2 年次 科 目（単位）	第 3 年次 科 目（単位）	第 4 年次 科 目（単位）
学部共通 基礎科目	必修	商学入門(2)			
		経済学入門(2)			
基礎科目	選択 必修	経営学入門(2)			
		初級簿記Ⅰ(2)			
		初級簿記Ⅱ(2)			
		マーケティング論Ⅰ(2)			
		会計学総論Ⅰ(2)			
		会計学総論Ⅱ(2)			
		ファイナンス入門(2)			
		7a? ミック・リサーチ(2)			
		高学総論(2)	流通経済論Ⅰ(2)	高学特殊講義Ⅰ(2)	経済地理Ⅰ(2)
		中小企業論入門(2)※	流通経済論Ⅱ(2)	高学特殊講義Ⅱ(2)	経済地理Ⅱ(2)
中小企業診断Ⅰ(2)	流通政策Ⅰ(2)	ビジネス倫理(2)	情報メディア論(2)		
中小企業診断Ⅱ(2)	流通政策Ⅱ(2)	中国の社会とビジネス(2)	情報処理(2)		
観光文化論実践(2)	流通システム論(2)	中国のマーケティング基礎(2)	コミュニケーションシステム(2)		
経営管理論(2)※	地域流通論(2)	中国のマーケティング実践(2)	情報システム論(2)		
7a? マネジメント・プランニング論(2)	物流論(2)	商業中国論(2)	プログラミングⅠ(2)		
経済統計基礎(2)※	7a? マネジメント・プランニング論Ⅱ(2)	電子商取引論(2)	プログラミングⅡ(2)		
インターネット社会論(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	情報技術論(2)		
情報科学概論(2)	マーケティング論Ⅰ(2)	マーケティング論Ⅰ(2)	情報技術論(2)		
情報処理(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	経営情報処理(2)		
	マーケティング論Ⅰ(2)	マーケティング論Ⅰ(2)	経営情報処理(2)		
	マーケティング論Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	情報システム論(2)		

科目区分	授業科目の名称・配当年次等				科目区分別卒業要件	
	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通教養科目	人文科学	アジアの歴史(2) アメリカの文学と文化(2) イギリスの文学と文化(2) イスラーム・アラブ文化論(2) 演劇(2) 音楽史(2) カウンセリング心理学(2) 教育学(2)	近代日本文学(2) 実学への招待(2) 言語学(2) 現代中国の思想(2) 古典日本文学(2) 社会思想史(2) 宗教学(2) 心理学入門(2)	性格心理学(2) 世界の文学(2) 哲学(2) 日本史(2) 日本の文化(2) 東アジア文化論(2) 美術史(2) Film Studies(2)	ヨーロッパの歴史(2) 倫理学(2) 歴史学入門(2) 論理学(2) 海外短期文化研修I(2) 海外短期文化研修II(2) 海外長期文化研修(4)	2単位以上
	社会科学	観光文化論(2) グローバル・アジア論(2) Global Studies(2) 経済と社会(2) 現代社会と宗教(2) 日本国憲法(2)	国際関係論(2) ジェンダー論(2) 質的調査法(2) 社会学(2) 社会調査法(2) 社会ネットワーク論(2)	商業と倫理(2) 生活環境論(2) 政治学入門(2) 世界の紛争と平和(2) 地理学と社会(2) 日本現代社会論(2)	日本政治史(2) 福祉論(2) 文化人類学(2) 法学(2) 民俗学(2)	
	自然科学	宇宙科学(2) エネルギー論(2) 化学(2) 科学技術史(2) 数と計算(2)	環境と倫理(2) 健康科学(2) コーチング論(2) 自然科学入門(2) 自然地理(2)	情報と倫理(2) 数学(2) スポーツ科学(2) 生物学入門(2) 生物と機能(2)	生命と倫理(2) 地球科学(2) 地球環境論(2) 統計学入門(2) 物理学(2)	
CUC基盤教育科目群	必修	英語(A)I(2) 英語(B)I(2)				(必修を含む) 8単位以上 必修
		選択必修	英語(A)II(2) 英語(B)II(2) 中国語(A)I(2) 中国語(B)I(2)			
	選択		英語(C)I(2)	中国語(A)II(2)	ドイツ語(A)I(2)	
		英語(C)II(2)	中国語(B)II(2)	ドイツ語(A)II(2)	フランス語(A)II(2)	
		基礎英語I(2)	中国語(C)I(2)	ドイツ語(B)I(2)	フランス語(B)I(2)	
		基礎英語II(2)	中国語(C)II(2)	ドイツ語(B)II(2)	フランス語(B)II(2)	
		スポーツ英語(2)	基礎中国語会話I(2)	ドイツ語(C)I(2)	フランス語(C)I(2)	
		ビジネス英語I(2)	基礎中国語会話II(2)	ドイツ語(C)II(2)	フランス語(C)II(2)	
		ビジネス英語II(2)	基礎中国語文法I(2)	ドイツ語I(2)	フランス語I(2)	
		ビジネス英語III(2)	基礎中国語文法II(2)	ドイツ語II(2)	フランス語II(2)	
中級英語I(2)	中級中国語I(2)	ドイツ語III(2)	フランス語III(2)			
中級英語II(2)	中級中国語II(2)	ドイツ語IV(2)	フランス語IV(2)			
中級英語III(2)	上級中国語I(2)	スペイン語I(2)	韓国語I(2)			
プレゼンテーション英語(2)	上級中国語II(2)	スペイン語II(2)	韓国語II(2)			
		スペイン語III(2)	韓国語III(2)			
		スペイン語IV(2)	韓国語IV(2)			
情報科目	必修	情報入門(2) 情報実践(2)				(必修を含む) 4単位以上
	選択	ICT基礎(2) Web基礎(2) プログラミング基礎(2)				
簿記会計科目	選択	会計学への扉(2) 簿記特講(4) 税理実務研究I(2)	税理実務研究II(2) 経理実務入門(2) 税務実務入門(2)			
体育科目	選択	体育学実習I(1)				
キャリア科目	選択	キャリアデザイン(2) 雇用と労働の法律(2) 企業研究(2) ビジネス探究(2)	ホスピタリティ実践(2) マナー・ディスカッション(2) 職業・業界研究(2)	インターンシップ(2) 就業力実践(2)		
日本語関連科目	選択	文章表現(2) *日本語読解I(2) *日本語読解II(2) *日本語読解III(2)	*日本語聴解I(2) *日本語聴解II(2) *日本語聴解III(2)			

<注意事項>

1. 海外短期文化研修Ⅰ・Ⅱ、海外長期文化研修は、協定校に語学研修または交換留学した者が履修できる科目です。
2. *印の日本語読解Ⅰ～Ⅲ・日本語聴解Ⅰ～Ⅲは留学生のみの配当としています。
3. 上記科目以外に「特別講義」として開講する科目があります。

科目区分	授業科目の名称・配当年次等				科目区分別卒業要件
	1年次	2年次	3年次	4年次	
国際教養科目群	必修 国際教養学概論I (1) 国際教養学概論II (1) 国際教養学概論III (1) 国際教養学概論IV (1)		国際教養学I (1) 国際教養学II (1) 国際教養学III (1) 国際教養学IV (1)		8単位
国際教養入門科目群	選択 日本研究A(文化)(2) 日本研究B(地理)(2) 統計学演習(2) メディア入門(2) 地球環境科学(2) ホスピタリティ(2) 日本研究C(歴史)(2) 日本研究D(自然)(2) ミクロ経済学(2) 民俗と文化(2) 現代社会解析(2) マクロ経済学(2) 法と社会(2) 中国事情(2) 情報科学(2) 情報社会(2)	地域研究A(文化、宗教)(2) 地域研究B(地理)(2) 計量経済学(2) Business Mathematics(2) 民法(2) 政治学(2) ボランティア研究(2) 地域研究C(歴史)(2) 地域研究D(自然)(2) 日本経済論(2) 犯罪と刑罰(2) キャリア実践I (2) キャリア実践II (2) プログラミング入門(2)			20単位以上
国際教養専門科目群	選択		経営学(2) 国際協力論(2) 国際機構論(2) マーケティング(2) 企業法(2) 国際法(2) 公共政策(2) 世界経済論(2) ITビジネス(2) 知的財産法(2) 国際政治学(2) 比較政治論(2) 開発経済論(2) グローバルビジネス(2) 法比較学(2) 外交と安全保障(2) 国際メディア論(2) 地理情報システム(2) Comparative Culture(2)	国際文化人類学(2) 資源論(2) English and American Literature(2) 中華園事情(2) 標準化論(2) 中国語交渉会話(2) メディア実践I (1) メディア実践II (1) 環境文明史論(2) Negotiation in English(2) Linguistic Cultural Studies(2) 日本の伝統芸術(2) プログラミング(2) ディベート(2) 労働社会学(2) 労働と法(2) 先端技術と社会(2) 事業構想演習(2) データサイエンス(2)	24単位以上
外国語科目群	選択必修 English Communication I (1) English Communication II (1) Extensive Reading in English(1) Presentation in English(1) 中国語入門I (1) 中国語入門II (1) 中国語会話I (1) 中国語会話II (1)	英語中級I (1) Business English I (1) 英語中級II (1) Business English II (1) 中国語中級I (1) 中国語会話III (1) 中国語中級II (1) 中国語会話IV (1)			8単位
情報科目群	必修 アカデミック・スキルI (1) アカデミック・スキルII (1)	映像表現(1)			3単位
キャリア科目群	必修 キャリア入門I (1) キャリア入門II (1)	キャリア入門III (1)			3単位
セミナー科目群	必修 研究基礎I (1) 研究基礎II (1) 研究基礎III (2) グループワーク入門(1) 国際教養学演習I (2)	国際教養学演習II (1) インタビュー入門(1) 国際教養学演習III (1)	プロジェクト演習I (1) プロジェクト演習II (1) プロジェクト演習III (1) ファシリテーション入門 (2) プロジェクト演習IV (1)	卒業研究(4)	20単位
留学科目群	必修 海外文化研修(1)	留学入門(1) 海外研修(2)			(必修をきく) 4単位以上
	選択	海外フィールドワーク実習(8)			

SS

<表の見方>

必修科目 … 網掛け・太文字

例:国際教養学概論I

選択必修科目 … 太文字

例:English Communication I

科目名に続いて記載されている数字は単位数を表します。

【履修できない科目】

以下の通りとなります。誤って履修登録しないよう注意してください。

カリキュラムが異なる科目	授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の授業科目配当表をよく確認し、異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修しないよう注意してください。 カリキュラム改定された場合、授業科目読替・新設・廃止一覧を確認してください。
単位修得済み科目	一度単位を認定された科目（単位修得済みの科目）は、再履修することができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっても、同一名称の科目は重複して履修することはできません。 また、「体育学実習」の同一種目の場合も重複履修することはできません。
同一時限科目	一つの曜日・時限に二つ以上の科目を履修登録することはできません。

Q A よくある問い合わせ

Q 他学部の科目を履修したいが、履修可能か。

A 原則、他学部の科目は履修できません。履修できる科目は、[授業科目配当表](#)に記載のある科目となります。

授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。

【履修にあたり条件がある科目について】

以下の科目の履修にあたっては条件があります。ステップアップ科目については、次学期以降に履修登録に影響が出ますので、計画的に履修登録を行ってください。

《2020 年度以降入学者》

ステップアップ科目	条件
海外研修	1 年次終了時点までに 38 単位以上を修得していること。または、2 年次終了時点までに 50 単位以上修得していること。
海外フィールドワーク実習	「海外研修」の履修条件を満たし、学部の定める語学力の基準に達し、海外フィールドワーク実習への派遣が決定していること。
留学入門	海外研修または海外フィールドワーク実習への参加条件を満たしていること。
メディア実践 II	メディア実践 I を履修中または修得済みであること。

履修に制限がある科目	条件
ICT 基礎	「情報入門」を受講したことがある者のみ履修可能。
Web 基礎	
日本語読解 I ~ III	留学生のみ履修可能。
日本語聴解 I ~ III	
特別講義 (特修日本事情 A・B)	

事前履修科目

必修科目など、履修することが指定されている科目は、履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています。履修登録期間に各自で登録する必要はありません。これを「事前履修科目」と呼んでいます。

事前履修科目の曜日・時限は 10月 1 日(火)9:00 以降に CUC PORTAL の「学生時間割表」で確認できます。各自で曜日・時限の指定・変更はできませんので、学生時間割表で指定された曜日・時限の授業に出席してください。

なお、指定された曜日・時限以外の授業に出席しても単位修得はできませんので注意してください。

対象学年	クォーター 学期	科目名	備考	
1 年生	1, 2Q・春	(1Q)国際教養学概論 I		
		(2Q)国際教養学概論 II		
		国際教養学概論 III		
		(春)英語(A)I		
		(春)英語(B)I		
		英語 選択者のみ	(1Q)English Communication I	
			(2Q)English Communication II	
		中国語 選択者のみ	(1Q)中国語入門 I	
			(2Q)中国語入門 II	
		(春)情報入門		
		(1Q)アカデミック・スキル I		
		(2Q)アカデミック・スキル II		
		(1Q)キャリア入門 I		
		(1Q)研究基礎 I		
	(2Q)研究基礎 II			
	3, 4Q・秋	(4Q)国際教養学概論 IV		
		英語 選択者のみ	(3Q)Extensive Reading in English	
			(4Q)Presentation in English	
			(秋)英語(A)II	
			(秋)英語(B)II	
		中国語 選択者のみ	(3Q)中国語会話 I	
			(4Q)中国語会話 II	
			(秋)中国語(A)I	
			(秋)中国語(B)I	
		(秋)情報実践		
		(3Q)キャリア入門 II		
(3Q)グループワーク入門				
(3Q)研究基礎 III				
(4Q)国際教養学演習 I				
海外文化研修		履修上限外科目		

対象学年	クォーター学期	科目名	備考	
2 年 生	1,2Q・春	(春)海外フィールドワーク実習	中期研修参加予定者のみ 履修上限外科目	
		(春)海外研修		
		(1Q)国際教養学演習 II		
		(2Q)国際教養学演習 III		
		(1Q)インタビュー入門		
		(2Q)映像表現		
		(2Q)キャリア入門 III		
		(1Q)留学入門	履修上限外科目	
		英語 選択者のみ	(1Q)英語中級 I	
			(2Q)英語中級 II	
	(1Q)Business English I			
	(2Q)Business English II			
	中国語 選択者のみ	(1Q)中国語中級 I		
		(2Q)中国語中級 II		
		(1Q)中国語会話 III		
		(2Q)中国語会話 IV		
3,4Q・秋	(秋)海外フィールドワーク実習	1,2Q から継続して履修		
	(秋)海外研修	1,2Q から継続して履修		
3 年 生	1,2Q・春	(1Q)国際教養学 I		
		(2Q)国際教養学 II		
		(1Q)プロジェクト演習 I		
		(2Q)プロジェクト演習 II		
	3,4Q・秋	(3Q)国際教養学 III		
		(4Q)国際教養学 IV		
		(3Q)プロジェクト演習 III		
		(4Q)プロジェクト演習 IV		
(3Q)ファシリテーション入門				
4 年 生	1,2Q・春	(春)卒業研究		
	3,4Q・秋	(秋)卒業研究	1,2Q から継続して履修	

※科目名称の前の()内は以下を表しています。

(1Q)(2Q) (3Q)(4Q)：学部のクォーター科目の開講クォーター (春) (秋)：セメスター科目の開講学期

Q A よくある問い合わせ

Q 必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。

再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。

A 再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は[再履修科目](#)を参照してください。

① 単位認定申請方法について

所定の資格を取得した場合、認定科目の単位が未修得の学生に対して、単位認定の申請を受け付けます。単位認定を希望する場合は、以下を確認のうえ、申請してください。

【申請期間】※第1期第2期ともに全学部全学年対象

第1期申請	2024年8月19日(月)12時~9月9日(月)12時まで
第2期申請	2024年9月17日(火)12時~10月3日(木)12時まで

【認定科目および認定条件】

対象資格、認定科目は学部、入学年度により異なりますので、下表を確認のうえ申請してください。

学部	該当資格	認定科目	認定時期	注意事項
【政策情報学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次~	■英語(A)・(B)I・IIについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要のある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は1科目となります。
	実用英語技能検定準2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 1科目選択可能	英語(A)I	1年次 秋学期~	
	実用英語技能検定2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 2科目選択可能	英語(B)I	2年次 春学期~	
		英語(A)II		
【サービス創造学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次~	
	簿記実務検定試験(全商)2級以上合格	簿記入門		
	簿記能力検定(全経)2級以上合格			
	日商簿記検定試験3級以上合格			
【人間社会学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次~	
【国際教養学部】 (2020年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次~	■英語(A)・(B)I・IIについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要のある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は1科目となります。
	実用英語技能検定準2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 1科目選択可能	英語(A)I	1年次 秋学期~	
		英語(B)I	2年次 春学期~	
	実用英語技能検定2級 ※英語(A)・(B)I・IIの中から 2科目選択可能	英語(A)II		
英語(B)II				

【申請手順】

下記の Microsoft Forms の URL より、順番に沿って質問に回答し、申請を行う科目の認定条件となっている資格試験の合格証書ファイルを提出（アップロード）してください。

第1期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/pmnWj2ZkiH>

第2期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/eAXjCkN5TP>

※合格証書ファイルの形式は PDF 形式もしくは画像データのみ受け付けます。

Microsoft Forms による申請は**1人1回のみ**実施可能となっているため、申請内容に間違いがないようにご注意ください。

※諸般の事情により手元に合格証書がない、用意できない場合には、

Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までその旨ご連絡ください。

【連絡先】

教務課電話番号:047-373-9754

教務課メールアドレス:kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

【申請期間における注意事項】

- Microsoft Forms の回答（申請）、合格証書の正しい提出が行われなかった場合には申請を受理できません。
- 単位認定を希望する科目の履修登録は行わないでください。当該科目の履修登録がなされていた場合には申請が取り下げたものとみなします。
- 単位認定が認められた場合には当該学期の修得単位として扱われ、学期末の成績公開時に成績照会に反映されますので、学期中の当該授業の受講は不要です。
- 単位認定が認められた場合、その単位は「学期履修単位数の上限」には含まれません。

Q A よくある問い合わせ

Q 単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。

A 申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。
(第1期：9/30(月)頃まで 第2期：10/7(月)頃)

Q 申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。

A Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

Q 1度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。

A Microsoft Forms による申請は 1人1回のみとなります。
申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。

Q 指定 URL をクリックしてもMicrosoft Forms にログインできない。

A Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。
まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。
申請期間中にも関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。
(○○○○○○@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

④自分の授業時間割を組む

【自分の授業時間割を組む手順】

手順	内容
1	履修登録できる単位数を確認する
2	授業時間割表を確認する
3	各科目における注意点を確認する
4	気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する
5	自分の時間割を決める

手順 1：履修登録できる単位数を確認する

【履修上限単位数】

学期の履修上限単位数は入学年度ごとに異なります。

入学年度	履修上限単位数	履修上限単位数には含まない科目
2024 年度入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 24 単位まで履修が可能）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学入門 ・ 海外研修 ・ 海外フィールドワーク実習 ・ 海外文化研修 ・ 集中授業 ・ 自由科目 ・ 海外短期文化研修
2020～2023 年度以降入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	
2019 年度入学者	22 単位（前学期 GPA3.5 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	
2018 年度以前入学者	GPA による履修上限単位数の変更はなし	

【自身で履修登録できる単位数】

履修上限単位数から、事前履修科目の合計単位数を引いて、残った単位数が自身で履修できる単位数です。※事前履修科目および単位数は[事前履修科目](#)を参照してください

履修上限単位数 _____ 単位	—	事前履修科目の合計単位数 _____ 単位	=	自身で履修できる単位数 _____ 単位
---------------------	---	--------------------------	---	-------------------------

Q A よくある問い合わせ

Q 前学期 GPA3.0 以上は 26 単位（2024 年度入学者は 24 単位）履修可能という制度だが、「前学期」とは 1 つ前の学期の「学期 GPA」か、それとも「1 年間（春学期・秋学期）の GPA」か。

A 「前学期」の GPA とは、以下の GPA を指します。前年の 1 年間（春学期・秋学期）ではありません。

- ・春学期の履修時：前年度 秋学期の GPA
- ・秋学期の履修時：同年度 春学期の GPA

※GPA は CUC PORTAL 「成績照会」で確認してください。

【推奨される修得単位数】

履修上限単位数と同様に、その学期に修得することが望ましい推奨修得単位数が設定されています。この推奨修得単位数にしたがって単位を修得することによって、4 年間で無理なく卒業ができるようになりますので、履修計画の際の参考にしてください。

学年	セメスター	推奨修得単位数	修得可能単位数
1	1	18	22
	2	36	44
2	3	54	66
	4	72	88
3	5	90	110
	6	108	132
4	7	120	154
	8 (卒業)	124	176

手順2：授業時間割表を確認する

以下の表にて、時間割表を確認してください。

【授業時間割表（2024年度秋学期）】

※各科目における補足説明

- ・特別講義：今日の社会で関心の高いテーマ等を取り上げた科目であり、単年度での開講となります。どの卒業要件単位に含まれるかは、以下時間割表の「区分」を参照してください。
- ・オンデマンド：曜日時限の指定がない科目です。詳細は[遠隔授業の受講](#)を参照してください。

<p>【区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 共教：CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 <input type="checkbox"/> 外国：CUC 基盤教育機構群_外国語科目 <input type="checkbox"/> 情報：CUC 基盤教育機構群_情報科目 <input type="checkbox"/> 簿記：CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 <input type="checkbox"/> 体育：CUC 基盤教育機構群_体育科目 <input type="checkbox"/> キャリア：CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 <input type="checkbox"/> 日本：CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 <input type="checkbox"/> 国際：国際教養科目群 <input type="checkbox"/> 入門：国際教養入門科目群 <input type="checkbox"/> 専門：国際教養専門科目群 <input type="checkbox"/> 外国：外国語科目群 <input type="checkbox"/> 情報：情報科目群 <input type="checkbox"/> キャリア：キャリア科目群 <input type="checkbox"/> 留学：留学科目群 <input type="checkbox"/> セミナー：セミナー科目群 	<p>【履修種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 必修：必修科目 <input type="checkbox"/> 必再：必修科目、選択必修科目の再履修クラス <input type="checkbox"/> 選必：選択必修科目 <input type="checkbox"/> 空白：選択科目 <input type="checkbox"/> 自由：自由科目 <p>【配当年次】</p> <p>履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4: 1-4年生が履修可能</p>	<p>【備考】</p> <p>※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。</p> <p>※2 「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。</p> <p>※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。</p> <p>※4 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1時限・金曜 3時限、水曜 4時限・木曜 4時限)</p> <p>※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。</p>
---	---	--

3Q (クォーター) 開講科目

2024年9月17日現在

曜日・時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
月1・木1	セミナー	必修	1	研究基礎 III	五反田 克也	-	週2回授業
	専門		3	公共政策	山田 武	50	週2回授業
	専門		3	知的財産法	井手 李咲	50	週2回授業
月2・木2	専門		3	中国語交渉会話	施 敏	50	週2回授業
	入門		1	日本研究 A (文化)	中里 亮平	50	週2回授業
月3	入門		1	民俗と文化	MIZIRAKLI Halit	50	週2回授業
	セミナー	必修	1	グループワーク入門	MIZIRAKLI Halit	-	
月3・木3	セミナー	必修	3	グループワーク入門	五反田 克也	-	
月4	セミナー	必修	3	ファシリテーション入門	常見 陽平	-	週2回授業
	セミナー	必再	3	プロジェクト演習 III (再履修)	久保 裕也	-	
月4	外国	選必	1	中国語会話 I	施 敏	-	
	専門		3	標準化論	渡辺 恭人	50	週2回授業
火1・金1	専門		3	IT ビジネス	久保 裕也	50	週2回授業
	入門		1	日本研究 B (地理)	今井 理雄	50	週2回授業
	入門		1	ミクロ経済学	山田 武	50	週2回授業
	入門		1	現代社会解析	手賀 洋一	50	週2回授業
火2	キャリア	必修	1	キャリア入門 II	常見 陽平	-	
火2・金2	専門		3	国際機構論	藤田 輔	50	週2回授業
	専門		3	事業構想演習	手賀 洋一	10	週2回授業
	専門		3	国際政治学	粕谷 真司	50	週2回授業
火4	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	久保 裕也	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	山田 武	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	施 敏	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	五反田 克也	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	渡辺 恭人	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	藤田 輔	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 III	手賀 洋一	-	
水1・水2	専門		3	国際文化人類学	澁谷 俊樹	50	週2回授業

- 【区分】
共教:CUC 基礎教育機構群 共通教養科目
外国:CUC 基礎教育機構群 外国語科目
情報:CUC 基礎教育機構群 情報科目
海記:CUC 基礎教育機構群 海記会科目
体育:CUC 基礎教育機構群 体育科目
キャリア:CUC 基礎教育機構群 キャリア科目
日本:CUC 基礎教育機構群 日本語関連科目
国際:国際教養科目群
入門:国際教養入門科目群
専門:国際教養専門科目群
外国:外国語科目群
情報:情報科目群
キャリア:キャリア科目群
留学:留学科目群
セミナー:セミナー科目群

- 【履修種類】
必修:必修科目
必修:必修科目、選択必修科目の再履修クラス
選択:選択必修科目
空白:選択科目
自由:自由科目
 【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例)1~4:1~4年生が履修可能

- 【備考】
 ※1「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。
 ※2「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。
 ※3「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。
 ※4「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限、水曜4時限・木曜4時限)
 ※5他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。

曜日・時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
水1	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	渡辺 恭人	-	隔週授業/通年科目
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	施 敏	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	久保 裕也	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	MIZIRAKLI Halit	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	手賀 洋一	-	
水3	外国	選必	1	Extensive Reading in English	野口 大斗	-	
木4	外国	選必	1	Extensive Reading in English	BERRY Brian David	-	
	外国	選必	1	Extensive Reading in English	STANHAM Matthew James	-	
	国際	必修	3	国際教養学 III	常見 陽平	-	
木5	専門		3	メディア実践 I	柏木 将宏	50	メディア実践 II とセットで履修
金4	セミナー	必修	4	卒業研究	山田 武	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	施 敏	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	五反田 克也	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	手賀 洋一	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	渡辺 恭人	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	MIZIRAKLI Halit	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	常見 陽平	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	藤田 輔	-	通年科目
集中講義	留学	必修	1	海外文化研修	渡辺 恭人	-	

4Q (クォーター) 開講科目

曜日・時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
月1・木1	セミナー	必修	1	国際教養学演習 I	五反田 克也	-	週2回授業
	専門		3	開発経済論	藤田 輔	50	週2回授業
	専門		3	Negotiation in English	BERRY Brian David	50	週2回授業
月2・木2	専門		3	データサイエンス	渡辺 恭人	50	週2回授業
	専門		3	先端技術と社会	山田 武	50	週2回授業
	入門		1	日本研究 D (自然)	五反田 克也	50	週2回授業
月3・木3	専門		3	グローバルビジネス	常見 陽平	50	週2回授業
	入門		1	マクロ経済学	山田 武	50	週2回授業
	入門		1	情報社会	久保 裕也	50	週2回授業
月4	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV (再履修)	久保 裕也	-	
	外国	選必	1	中国語会話 II	施 敏	-	
火1・金1	専門		3	環境文明史論	五反田 克也	50	週2回授業
	専門		3	Linguistic Cultural Studies	MIZIRAKLI Halit	50	週2回授業
	入門		1	法と社会	松本 幸治	50	週2回授業
	入門		1	日本研究 C (歴史)	手賀 洋一	50	週2回授業
火2・金2	専門		3	比較政治論	粕谷 真司	50	週2回授業
	専門		3	日本の伝統芸術	MIZIRAKLI Halit	50	週2回授業
火2	国際	必修	1	国際教養学概論 IV	五反田 克也、他	-	
火3・金3	専門		3	外交と安全保障	粕谷 真司	50	週2回授業
火4	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	久保 裕也	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	山田 武	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	施 敏	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	五反田 克也	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	渡辺 恭人	-	

- 【区分】
共教:CUC 基盤教育機構群 共通教養科目
外国:CUC 基盤教育機構群 外国語科目
情報:CUC 基盤教育機構群 情報科目
簿記:CUC 基盤教育機構群 簿記会計科目
体育:CUC 基盤教育機構群 体育科目
キャリア:CUC 基盤教育機構群 キャリア科目
日本:CUC 基盤教育機構群 日本語関連科目
国際:国際教養科目群
入門:国際教養入門科目群
専門:国際教養専門科目群
外国:外国語科目群
情報:情報科目群
キャリア:キャリア科目群
留学:留学科目群
セミナー:セミナー科目群

- 【履修種類】
必修:必修科目
必再:必修科目、選択必修科目の再履修クラス
選択:選択必修科目
空白:選択科目
自由:自由科目
 【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例)1~4:1~4年生が履修可能

- 【備考】
 ※1「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。
 ※2「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。
 ※3「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。
 ※4「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限、水曜4時限・木曜4時限)
 ※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。

曜日・時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
火 4	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	藤田 輔	-	
	セミナー	必修	3	プロジェクト演習 IV	手賀 洋一	-	
水 1	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	MIZIRAKLI Halit	-	隔週授業/通年科目
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	久保 裕也	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	施 敏	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	手賀 洋一	-	
	留学		2	海外フィールドワーク実習/海外研修	渡辺 恭人	-	
水 3	外国	選必	1	Presentation in English	野口 大斗	-	
木 4	外国	選必	1	Presentation in English	BERRY Brian David	-	
	外国	選必	1	Presentation in English	STANHAM Matthew James	-	
	国際	必修	3	国際教養学 IV	常見 陽平、他	-	
木 5	専門		3	メディア実践 II	柏木 将宏	50	メディア実践 I とセットで履修
金 4	セミナー	必修	4	卒業研究	MIZIRAKLI Halit	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	五反田 克也	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	山田 武	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	施 敏	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	手賀 洋一	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	常見 陽平	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	渡辺 恭人	-	通年科目
	セミナー	必修	4	卒業研究	藤田 輔	-	通年科目
オンデマンド	入門		1	情報科学【オンデマンド】	柏木 将宏	50	

基盤教育機構等 秋学期開講科目 (セメスター科目)

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
月	1	外国	必再	1-4	英語(B)I (再履修)	小林 忠好	30	
	1	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和	40	※4
	1	体育		1-4	体育学実習 バスケットボール	武井 大輔	40	
	2	共教		1-4	Film Studies	酒井 志延	60	
	2	共教		1-4	地球環境論	杉田 文	150	
	2	共教		1-4	統計学入門	赤木 茅	150	
	2	外国	必再	1-4	英語(B)I (再履修)	小林 忠好	30	
	2	外国		1-4	中級英語 II	菅原 典子	30	
	2	外国		1-4	プレゼンテーション英語	大勝 裕史	30	
	2	外国		1-4	フランス語 I	村松 マリ = E	30	
	3	共教		1-4	ヨーロッパの歴史	師尾 晶子	150	
	3	共教		1-4	社会学	荒川 敏彦	150	
	3	共教		1-4	地球科学	杉田 文	150	
	3	外国		1-4	基礎中国語会話 I	高 麗貞	30	
	3	外国		1-4	ドイツ語 II	村井 浩一	30	
	3	情報	必再	1-4	情報実践	赤木 茅	60	
	3	体育		1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	武井 大輔	40	
	4	共教		1-4	アジアの歴史	王 瑞来	150	
	4	共教		1-4	哲学	柘岡 大輔	150	
	4	共教		1-4	美術史	山内 舞子	150	
4	共教		1-4	数と計算	新井 裕太	150		
4	外国	必修	1-4	英語(A)II 国際教養	STANHAM Matthew James	-		

- 【区分】
 共教: CUC 基盤教育機構群 共通教養科目
 外国: CUC 基盤教育機構群 外国語科目
 情報: CUC 基盤教育機構群 情報科目
 簿記: CUC 基盤教育機構群 簿記会計科目
 体育: CUC 基盤教育機構群 体育科目
 キャリア: CUC 基盤教育機構群 キャリア科目
 日本: CUC 基盤教育機構群 日本語関連科目
 国際: 国際教養科目群
 入門: 国際教養入門科目群
 専門: 国際教養専門科目群
 外国: 外国語科目群
 情報: 情報科目群
 キャリア: キャリア科目群
 留学: 留学科目群
 セミナー: セミナー科目群

- 【履修種類】
 必修: 必修科目
 必再: 必修科目、選択必修科目の再履修クラス
 選択: 選択必修科目
 空白: 自由科目
 自由: 自由科目
 【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例) 1-4: 1~4年生が履修可能

- 【備考】
 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。
 ※2 「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。
 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。
 ※4 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限、水曜4時限・木曜4時限)
 ※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
月	4	外国	必修	1-4	英語(A)II 国際教養	森野 豊	-	
	4	外国	必修	1-4	英語(A)II 国際教養	BERRY Brian David	-	
	4	キャリア		1-4	マナー・ディスカッション	庄司 祐子	50	
	5	情報		1-4	特別講義 (特別演習・情報技術)	大矢野 潤、他	40	
	5	セミナー	必再	1-4	研究基礎A (再履修)	枅岡 大輔	35	
	5	外国	必修	1-4	英語(B)II 国際教養	STANHAM Matthew James	-	
火	1	共教		1-4	言語学	松本 理一郎	150	
	1	共教		1-4	社会ネットワーク論	相良 陽一郎	150	
	1	体育		1-4	体育学実習 バスケットボール	竹内 久善	40	
	1	体育		1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	武井 大輔	40	
	2	共教		1-4	イギリスの文学と文化	酒井 志延	150	
	2	共教		1-4	性格心理学	中村 晃	150	
	2	共教		1-4	質的調査法	久保田 滋子	50	
	2	共教		1-4	生活環境論	政野 淳子	150	
	2	共教		1-4	健康科学 【リアルタイム】	藤野 和樹	150	
	2	共教		1-4	統計学入門	赤木 茅	150	
	2	外国		1-4	基礎中国語文法 I	王 佩民	30	
	2	外国		1-4	ドイツ語 III	森田 里津子	30	
	2	外国		1-4	スペイン語 I	日高 美奈子	30	
	2	簿記		1-4	特別講義 (ビジネス会計)	渡邊 圭	70	
	2	体育		1-4	体育学実習 バスケットボール	竹内 久善	40	
	2	体育		1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	武井 大輔	40	
	2	キャリア		3-4	就業力実践	石田 美穂子	45	
	3	共教		1-4	心理学入門	中村 晃	150	
	3	共教		1-4	世界の紛争と平和	小松 寛	150	
	3	共教		1-4	数学	寺野 隆雄	150	
	3	共教		1-4	生物と機能	関口 雄祐	150	
	3	外国		1-4	中級英語 III	作田 久美子	30	
	3	外国		1-4	ドイツ語 II	森田 里津子	30	
	3	外国		1-4	スペイン語 II	日高 美奈子	30	
	3	情報	必再	1-4	情報実践	吉田 剣	60	
	3	体育		1-4	体育学実習 バレーボール	鷲谷 浩輔	40	
	3	体育		1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	竹内 久善	40	
	3	キャリア		1-4	雇用と労働の法律	手嶋 進	100	
	3	日本		1-4	日本語聴解 II	沢野 美由紀	30	※1
	4	共教		1-4	歴史学入門	師尾 晶子	150	
	4	外国		1-4	基礎英語 I	菅原 典子	30	
	4	外国		1-4	スペイン語 IV	日高 美奈子	30	
	4	情報		1-4	プログラミング基礎	長尾 雄行	80	
4	情報		1-4	特別講義 (データサイエンス II)	赤木 茅、他	20		
4	日本		1-4	文章表現	行名 則子	80		
4	日本		1-4	日本語読解 III	沢野 美由紀	30	※1	
4	セミナー	必再	1-4	研究基礎B (再履修)	手嶋 進	35		
5	共教		1-4	物理学	中山 琢夫	150		
水	1	共教		1-4	日本現代社会論	田中 信一郎	60	
	1	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫	30	
	1	情報	必再	1-4	情報入門 (再履修)	長岡 篤	35	
	1	情報	必再	1-4	情報実践	鎌田 光宣	60	
	1	体育		1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹	50	

- 【区分】
 共教: CUC 基盤教育機構群 共通教養科目
 外国: CUC 基盤教育機構群 外国語科目
 情報: CUC 基盤教育機構群 情報科目
 簿記: CUC 基盤教育機構群 簿記会計科目
 体育: CUC 基盤教育機構群 体育科目
 キャリア: CUC 基盤教育機構群 キャリア科目
 日本: CUC 基盤教育機構群 日本語関連科目
 国際: 国際教養科目群
 入門: 国際教養入門科目群
 専門: 国際教養専門科目群
 外国: 外国語科目群
 情報: 情報科目群
 キャリア: キャリア科目群
 留学: 留学科目群
 セミナー: セミナー科目群

- 【履修種類】
 必修: 必修科目
 必再: 必修科目、選択必修科目の再履修クラス
 選択: 選択必修科目
 空白: 空白科目
 自由: 自由科目
- 【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例) 1-4: 1~4年生が履修可能

- 【備考】
 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。
 ※2 「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。
 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。
 ※4 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1時限・金曜 3時限、水曜 4時限・木曜 4時限)
 ※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
水	2	共教		1-4	日本政治史	田中 信一郎	150	
	2	共教		1-4	生物学入門	関口 雄祐	150	
	2	共教		1-4	特別講義 (SDGs 概論)	星野 智子	80	
	2	外国		1-4	基礎英語 II	笠原 涼太	30	
	2	外国		1-4	ドイツ語 III	大井 真奈	30	
	2	外国		1-4	フランス語 II	村松 マリ=E	30	
	2	外国		1-4	韓国語 II	李 女正 姫	30	
	2	情報	必修	1-4	情報実践 国際教養	渡辺 恭人	-	
	2	情報	必修	1-4	情報実践 国際教養	久保 裕也	-	
	2	情報	必再	1-4	情報実践	赤木 茅	60	
	2	体育		1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹	50	
	2	キャリア		1-4	企業研究	手嶋 進	150	
	2	日本		1-4	文章表現	行名 則子	80	
	3	共教		1-4	宗教学	加藤 弘二郎	150	
	3	共教		1-4	日本国憲法	及川 智志	150	
	3	共教		1-4	国際関係論	原 民樹	150	
	3	外国		1-4	基礎英語 I	加々美 成美	30	
	3	外国		1-4	基礎中国語会話 II	韓 越	30	
	3	外国		1-4	中級中国語 II	王 克西	30	
	3	外国		1-4	フランス語 III	村松 マリ=E	30	
	3	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫	30	
	4	共教		1-4	音楽史	伊藤 美由紀	150	
	4	共教		1-4	心理学入門	小川 奈美子	150	
	4	共教		1-4	哲学	加藤 弘二郎	150	
	4	共教		1-4	論理学	平原 卓	150	
	4	共教		1-4	国際関係論	原 民樹	150	
	4	外国	必再	1-4	中国語(A)I (再履修)	矢久保 典良	30	
	4	外国		1-4	韓国語 IV	李 女正 姫	30	
	4	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子	40	※4
	5	外国		1-4	ビジネス英語 II	加藤 澄恵	30	
木	1	共教		1-4	日本史	町田 明広	150	
	1	共教		1-4	法学	合原 理映	150	
	1	共教		1-4	宇宙科学	内田 俊郎	150	
	1	外国		1-4	ビジネス英語 II	BROWN Alex	30	
	1	外国	必再	1-4	中国語(B)I (再履修)	顧 銘	30	
	1	体育		1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹	50	
	1	体育		1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	竹内 久善	40	
	2	共教		1-4	実学への招待	枅岡 大輔、他	200	
	2	共教		1-4	東アジア文化論	佐和田 成美	150	
	2	共教		1-4	観光文化論	久保田 滋子	150	
	2	共教		1-4	自然科学入門	内田 俊郎	150	
	2	共教		1-4	特別講義 (芸術と商業文化)	西尾 淳	50	
	2	共教		1-4	特別講義 (環境・エネルギーの政策と実践)	手嶋 進、他	20	
	2	外国		1-4	基礎中国語文法 II	顧 銘	30	
	2	情報		1-4	ICT 基礎	鎌田 光宣	141	※3
	2	体育		1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹	50	
	2	キャリア		1-4	キャリアデザイン	庄司 祐子	100	
	2	キャリア		3-4	就業力実践	石田 美穂子	45	
	3	共教		1-4	倫理学	枅岡 大輔	150	

- 【区分】
 共教: CUC 基盤教育機構群 共通教養科目
 外国: CUC 基盤教育機構群 外国語科目
 情報: CUC 基盤教育機構群 情報科目
 簿記: CUC 基盤教育機構群 簿記会計科目
 体育: CUC 基盤教育機構群 体育科目
 キャリア: CUC 基盤教育機構群 キャリア科目
 日本: CUC 基盤教育機構群 日本語関連科目
 国際: 国際教養科目群
 入門: 国際教養入門科目群
 専門: 国際教養専門科目群
 外国: 外国語科目群
 情報: 情報科目群
 キャリア: キャリア科目群
 留学: 留学科目群
 セミナー: セミナー科目群

- 【履修種類】
 必修: 必修科目
 必再: 必修科目、選択必修科目の再履修クラス
 選必: 選択必修科目
 空白: 空白科目
 自由: 自由科目
- 【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例) 1-4: 1~4年生が履修可能

- 【備考】
 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。
 ※2 「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。
 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1年生は秋学期から履修可能)。
 ※4 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1時限・金曜 3時限、水曜 4時限・木曜 4時限)
 ※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「商経学部」から選択してください。

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
木	3	共教		1-4	経済と社会	田中 信一郎	150	
	3	共教		1-4	文化人類学	久保田 滋子	150	
	3	共教		1-4	科学技術史	高橋 真樹	150	
	3	共教		1-4	環境と倫理	中山 琢夫	150	
	3	外国	必再	1-4	英語(A)I (再履修)	白土 さゆり	30	
	3	外国		1-4	中級中国語 I	福原 崇夫	30	
	3	外国		1-4	ドイツ語 I	小松 真帆	30	
	3	外国		1-4	フランス語 IV	橋本 克己	30	
	3	簿記		1-4	税理実務研究 II	勝谷 千恵子	50	
	3	体育		1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹	50	
	3	キャリア		1-4	職業・業界研究	手嶋 進	100	
	3	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子	70	
	4	共教		1-4	世界の文学	橋本 克己	150	
	4	外国	必修	1-4	中国語(A)I 国際教養	福原 崇夫	20	
	4	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子	40	※4
4	キャリア		1-4	ビジネス探究	手嶋 進	150		
4	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子	70		
金	1	共教		1-4	ジェンダー論	坂本 洋子	150	
	1	共教		1-4	生命と倫理	柳内 和幸	150	
	1	共教		1-4	地球科学	杉田 文	150	
	2	共教		1-4	社会調査法	磯山 友幸	150	
	2	共教		1-4	地理学と社会	田野 宏	150	
	2	共教		1-4	コーチング論	鷲谷 浩輔	150	
	2	外国	必再	1-4	英語(A)I (再履修)	和田 ゆり	30	
	2	外国		1-4	中級英語 I	村上 真紀	30	
	2	体育		1-4	体育学実習 卓球	佐藤 智仁	36	
	2	日本		1-4	文章表現	行名 則子	80	
	3	共教		1-4	教育学	沖塩 有希子	150	
	3	共教		1-4	地球環境論	田中 信一郎	150	
	3	情報	必再	1-4	情報入門 (再履修)	市村 由起	35	
	3	情報		1-4	Web 基礎	長尾 雄行	60	※3
	3	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和	40	※4
	3	体育		1-4	体育学実習 バレーボール	鷲谷 浩輔	40	
	3	体育		1-4	体育学実習 卓球	佐藤 智仁	36	
	3	キャリア		1-4	キャリアデザイン	櫻井 和典	100	
	3	日本		1-4	日本語読解 II	行名 則子	34	※1
	4	共教		1-4	倫理学	枅岡 大輔	150	
	4	共教		1-4	Global Studies	大勝 裕史	60	
	4	共教		1-4	特別講義 (スポーツビジネス実践)	中村 聡宏	125	
	4	外国	必修	1-4	英語(B)II 国際教養	STANHAM Matthew James	-	
	4	外国	必修	1-4	英語(B)II 国際教養	BERRY Brian David	-	
	4	外国	必修	1-4	中国語(B)I 国際教養	呉 仲華	20	
	4	外国		1-4	ドイツ語 II	LIEBHART Anette	30	
	4	日本		1-4	文章表現	行名 則子	80	
	5	外国		1-4	ビジネス英語 III	加藤 澄恵	30	
	5	情報	必再	1-4	情報入門 (再履修)	吉田 実久	35	
	5	セミナー	必再	1-4	研究基礎 A (再履修)	枅岡 大輔	35	
オンデマンド		共教		1-4	社会思想史 【オンデマンド】	荒川 敏彦	150	
		共教		1-4	日本の文化 【オンデマンド】	杉浦 一雄	150	

- 【区分】
 共教: CUC 基盤教育機構群_共通教養科目
 外国: CUC 基盤教育機構群_外国語科目
 情報: CUC 基盤教育機構群_情報科目
 簿記: CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目
 体育: CUC 基盤教育機構群_体育科目
 キャリア: CUC 基盤教育機構群_キャリア科目
 日本: CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目
 国際: 国際教養科目群
 入門: 国際教養入門科目群
 専門: 国際教養専門科目群
 外国: 外国語科目群
 情報: 情報科目群
 キャリア: キャリア科目群
 留学: 留学科目群
 セミナー: セミナー科目群

- 【履修種類】
 必修: 必修科目
 必再: 必修科目、選択必修科目の再履修クラス
 選必: 選択必修科目
 空白: 選択科目
 自由: 自由科目

【配当年次】
 履修可能な学年を示しています。
 (例) 1-4: 1~4 年生が履修可能

【備考】
 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。

※2 「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。

※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります(1 年生は秋学期から履修可能)。

※4 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限、水曜 4 時限・木曜 4 時限)

※5 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「高経学部」から選択してください。

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	定員	備考
オンデマンド		共教		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎	150	
		共教		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎	150	
		共教		1-4	エネルギー論 【オンデマンド】	中山 琢夫	150	
		共教		1-4	エネルギー論 【オンデマンド】	中山 琢夫	150	
		共教		1-4	化学 【オンデマンド】	坂本 昌巳	150	
		共教		1-4	化学 【オンデマンド】	坂本 昌巳	150	
		共教		1-4	情報と倫理 【オンデマンド】	磯山 友幸	150	
		共教		1-4	情報と倫理 【オンデマンド】	磯山 友幸	150	
		簿記		1-4	会計学への扉 【オンデマンド】	渡邊 圭	150	

Q A よくある問い合わせ

Q 履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。

A 事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q 時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。

A 履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q 必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。

A 学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は[再履修科目](#)を確認してください。

Q 自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいか分からない。

A 学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q 科目名の末尾に I・II、(1)・(2)等がついている科目について、I、(1)の単位を修得していなくても II、(2)を履修登録できるのか。

A 学部で条件が定められていなければ履修登録することができますが、II、(2)を履修する場合、I、(1)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。
学部で条件が定められている科目については[履修にあたり条件がある科目について](#)を参照してください。

手順 3：各科目における注意点を確認する

【再履修科目】

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。

再履修できる授業は下表のとおりです。下表に記載のない科目は、次学期以降に履修登録してください。

開講 学期	曜日	時限	科目名称	氏名	備考
秋学期	月	1	英語(B)I (再履修)	小林 忠好	
秋学期	月	2	英語(B)I (再履修)	小林 忠好	
3Q	月	3	グループワーク入門	<指定クラス>	事前履修
3Q	月3・木3		ファシリテーション入門	常見 陽平	
秋学期	月	3	情報実践	赤木 茅	
3Q	月	4	プロジェクト演習 III (再履修)	久保 裕也	
3Q	月	4	中国語会話 I	施 敏	
4Q	月	4	プロジェクト演習 IV (再履修)	久保 裕也	
4Q	月	4	中国語会話 II	施 敏	
秋学期	月	5	研究基礎 A (再履修)	枡岡 大輔	「研究基礎 III」 再履修科目
3Q	火	2	キャリア入門 II	常見 陽平	
4Q	火	2	国際教養学概論 IV	五反田克也、他	
秋学期	火	3	情報実践	吉田 剣	
秋学期	火	4	研究基礎 B (再履修)	手嶋 進	「国際教養学演習 I」再履修科目
秋学期	水	1	情報入門 (再履修)	長岡 篤	
秋学期	水	1	情報実践	鎌田 光宣	
秋学期	水	2	情報実践	赤木 茅	
3Q	水3または木4		Extensive Reading in English	<指定クラス>	事前履修
4Q	水3または木4		Presentation in English	<指定クラス>	事前履修
秋学期	水	4	中国語(A)I (再履修)	矢久保 典良	
秋学期	木	1	中国語(B)I (再履修)	顧 銘	
秋学期	木	3	英語(A)I (再履修)	白土 さゆり	
3Q	木	4	国際教養学 III	常見 陽平	
4Q	木	4	国際教養学 IV	常見 陽平、他	
秋学期	金	2	英語(A)I (再履修)	和田 ゆり	
秋学期	金	3	情報入門 (再履修)	市村 由起	
秋学期	金	4	卒業研究	<指定クラス>	事前履修
秋学期	金	5	情報入門 (再履修)	吉田 実久	
秋学期	金	5	研究基礎 A (再履修)	枡岡 大輔	「研究基礎 III」 再履修科目
秋学期	※I		海外文化研修	渡辺 恭人	事前履修
秋学期	※I		海外研修	渡辺 恭人	事前履修

※I 履修、受講方法については別途お知らせします。

【授業科目読替・新設・廃止科目一覧】

該当なし

手順 4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する

開講されている科目が、実際にどのような授業を行うのか、その情報を提供しているものが「シラバス（講義概要）」です。シラバスには、各授業科目の講義内容や到達目標、事前事後学修等の指示、授業計画、評価方法、履修上の注意、教科書などが掲載されています。

時間割作成の際だけでなく、履修登録期間、授業期間など、常にシラバスの内容を確認するよう心がけてください。

シラバスは、CUC PORTAL で閲覧可能です。

🔍 シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

Q A よくある問い合わせ

Q シラバスを検索しても科目の情報が出てこないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。

A まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがないか確認してください。正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q シラバスに記載されている「先修科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。

A 「先修科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得していた方がより科目内容を理解できるということです。

Q 学年が1年となっている科目は1年次しか履修できないか。

A 学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は[授業科目配当表](#)を参照してください。

手順 5：自分の時間割を決める

手順 1～4 を踏まえて、自分の時間割を決めてください。

時間割決定後、履修登録できない科目を時間割に含めていないか確認してください。

⑤履修登録を行う

以下の手順に沿って、履修登録を行ってください。履修登録後は必ず CUC PORTAL 「学生時間割表」を見直して、正しく登録・修正が行われているかを確認してください。確認を怠り、履修登録をしていない科目を受講しても、その科目の成績は無効となります。履修登録期間外の対応は一切できませんので、十分注意してください。

履修登録は、CUC PORTAL にて行います。

各手順の方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル (学生向け)



【履修登録日程】

[履修登録日程表](#)を参照ください。

【履修登録を行う手順】

手順	内容	CUC PORTAL 活用マニュアル 項目
1	事前履修科目（必修科目）の確認	3.履修 事前履修科目を確認する／学生時間割表
2	一次履修登録期間（抽選）にて、抽選科目申込を行う	3.履修 抽選科目の希望申請登録をする／抽選希望登録
3	二次履修登録期間（先着）にて、履修登録を行う	3.履修 履修登録、履修修正、履修取消をする／履修登録
4	三次履修登録期間（修正）にて、履修修正を行う	
5	履修取消期間にて、履修取消を行う	

【履修登録時における注意点】

- ・履修登録前に、授業時間割表に抽選申込したい科目が記載されているか確認してください。
- ・履修登録の際は、学期の履修上限単位数を越えないようにしてください。全ての申込が無効になる場合があります。

【授業不開講】

必修及び選択必修等の卒業に関わる授業科目を除き、二次履修登録期間（先着）終了時点において履修者数が3名以下の場合、授業を開講しない場合があります。対象科目等は、告示にてお知らせします。

授業不開講により、当該の曜日・時限の履修登録が取消となった場合は、三次履修登録期間（修正）期間中であれば、追加で他の授業を履修登録することができます。

Q A よくある問い合わせ

Q 抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。

A 上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。
履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修科目の単位数も含めますので注意してください。
間違っ申込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q 抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。

A 落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていません）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q 抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。

A 抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

授業

学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）、授業準備について確認の上、授業を受講してください。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

【2学期制（セメスター制）】

本学は春学期（4月1日～9月30日）と秋学期（10月1日～3月31日）の2学期制（セメスター制）です。

授業は、原則として週1回（一部、1日2回または週2回の科目もあり）開講され、各学期13週にわたって開講されます。

この学期完結の授業形態が2学期制（セメスター制）です。それぞれの学期（セメスター）で授業期間などが学事カレンダーに定められていますので、学事カレンダーをよく確認してください。

【クォーター制（国際教養学部のみ）】

国際教養学部では、1年間の4つの期間に分けて授業を行うクォーター制を採用しています。

1クォーターは約7週間であり、原則として7回または13回の授業が開講され、週1回開講、週2回開講の授業科目があります。短期間に集中して学ぶため、予習や復習もしっかり行わなくてはなりません。集中するのは時間だけではなく、科目の絞り込みも可能で、関連する科目の学びも同時に深めていくことができます。

クォーター制で開講される授業科目の開講方法は、下記の通りです。

- ア. 週1回開講科目 例：国際教養学概論Ⅰ、English CommunicationⅠ等
- イ. 週2回開講科目 例：日本研究A（文化）、中国事情等

また、前記イ.の週2回開講科目では、異なる2つの曜日に授業を行う科目と同じ曜日に連続して授業を行う科目があります。

さらに、それぞれのクォーターで授業期間が学事カレンダーに定められていますので、国際教養学部の学事カレンダーをよく確認してください。

《各クォーターの期間》（Q：クォーター）

- 1Q：4月上旬～6月上旬
- 2Q：6月上旬～7月下旬
- 3Q：10月上旬～11月下旬
- 4Q：11月下旬～1月下旬

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
セメスター制	春学期						秋学期					
クォーター制	1クォーター		2クォーター				3クォーター		4クォーター			

Q A よくある問い合わせ

Q ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。

A 休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

【授業時間】

授業は1時限あたり105分で行われ、授業時間は、下表のとおりです。

時限	時間
1 時限	9:00 ~ 10:45
2 時限	10:55 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:30
3 時限	13:30 ~ 15:15
4 時限	15:25 ~ 17:10
5 時限	17:20 ~ 19:05

4月								5月											
日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日				
	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6					
	新入生オリエンテーション					入学式													
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13						
奄美研修	奄美研修	奄美研修	新入生オリエンテーション																
			奄美研修事後講義					⑧	④	⑨	⑤	⑤	⑨	⑤	⑩	⑤			
14	15	16	17	18	19	20	14	15海の日	16	17	18	19	20						
1Q開始	①	①	①	①	①	②	①	②	①	⑩	⑤	⑪	⑥	⑥	⑩	⑥	補講日		
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27						
	③	②	③	②	②	④	②	④	②	⑫	⑥	⑬	⑦	⑦	⑬	⑦	⑭	⑦	補講日
28	29	30	振替休日					28	29	30	31	振替休日							
	昭和の日	7/15海の日									⑭					⑦			
30	振替休日							30	⑭は週2回授業 実施科目の補講日										
6月								7月											
			1	2	3	4													
			創立記念日	10/14スポーツの日 振替休日	憲法記念日	みどりの日													
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10						
こどもの日	振替休日	⑤	③	③	⑤	③	⑥	③											
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17						
	⑥	③	⑦	④	④	⑦	④	⑧	④	補講日	山の日	振替休日							
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24						
	⑧	④	⑨	⑤	⑤	⑨	⑤	⑩	⑤	25	26	27	28	29	30	31			
26	27	28	29	30	31		25	26	27	28	29	30	31						
体育祭	⑩	⑤	⑪	⑥	⑥	⑪	⑥	⑫	⑥										
8月								9月											
						1													
2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7						
	⑫	⑥	⑬	⑦	⑦	⑬	⑦	⑭	⑦	補講日	8	9	10	11	12	13	14		
9	10	11	12	13	14	15	8	卒業生発表											
	⑭	⑦	①	①	①	①	②	①	15	16	17	18	19	20	21				
														学位記授与式					
16	17	18	19	20	21	22	15	16	敬老の日										
	②	①	③	②	②	③	②	④	②	22	23	24	25	26	27	28			
23/30	24	25	26	27	28	29	22	秋分の日	振替休日										
	④	②	⑤	③	③	⑤	③	⑥	③	補講日	29	30	海外フレッシュマンキャンプは、 9月24日～28日に実施						

2024年度秋学期

		日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土	
10 月				1	2	3	4	5	1 月					1	2	3	4	
		6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	12
		13	14 ① スポーツの日	15 ①	16 ①	17 ①	18 ②	19 ②			12	13 成人の日	14 ⑫	15 ⑫	16 ⑫	17 準備日 3/20 春分の日 振替休日	18 大学入学 共通 テスト	19
		20	21 ②	22 ②	23 ②	24 ②	25 ③	26 ③			19 大学入学 共通 テスト	20 ⑫	21 ⑬	22 ⑬	23 ⑬	24 ⑬	25 ⑬	26
		27	28 ③	29 ③	30 ③	31 ③					26	27 ⑬	28 補講 期間	29 補講 期間	30 補講 期間	31 補講 期間		
11 月							1 ④	2 ④ 補講日	2 月								1 補講 期間	
		3	4 振替休日 瑞穂祭	5 休講日 瑞穂祭 片付け日	6 ④	7 ④	8 ⑤	9 ⑤			2	3 補講 期間	4	5	6	7	8	
		10	11 ④	12 ④	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑥	16 ⑥			9	10	11 建国 記念日	12	13	14	15	
		17	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑥	21 ⑥	22 ⑦	23 ⑦ 勤労感謝 の日			16	17	18	19	20	21	22	
		24	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑧	30 ⑧ 補講日			23	24 振替 休日	25	26	27	28		
12 月		1 ⑨	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑨	7 ⑨	3 月								1	
		8	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑨	12 ⑨	13 ⑩	14 ⑩			2	3	4	5	6	7	8	
		15	16 ⑨	17 ⑨	18 ⑩	19 ⑩	20 ⑪	21 ⑪ 補講日			9	10 卒業 者 発表	11	12	13	14	15	
		22	23 ⑩	24 ⑩	25	26	27	28			16	17	18	19	20 学位記 授与式 春分の日	21	22	
		29	30	31							23	24	25	26	27	28	29	
									30	31								

⑦授業の準備をする

教科書の購入

授業で利用する教科書は、自分自身で購入する必要があります。

教科書は「千葉商科大学生協 教科書販売サイト」で購入できます。ただし、Web サイトで情報がない教科書もありますので、その際は一般の書店かインターネットの書籍販売サイト等で購入してください。

履修登録した科目の教科書は、シラバスから確認してください。

🔍 シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

▶千葉商科大学生協 教科書販売サイト

https://www.univcoop.jp/cuc/info/info_60.html

- ・支払い：クレジット払いまたはコンビニ支払い
- ・受け渡し方法：店頭受け取りまたは配送



【問い合わせ先】千葉商科大学生活協同組合（生協） 購買書籍部 047-372-0195

Q A よくある問い合わせ

Q 科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。

A シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

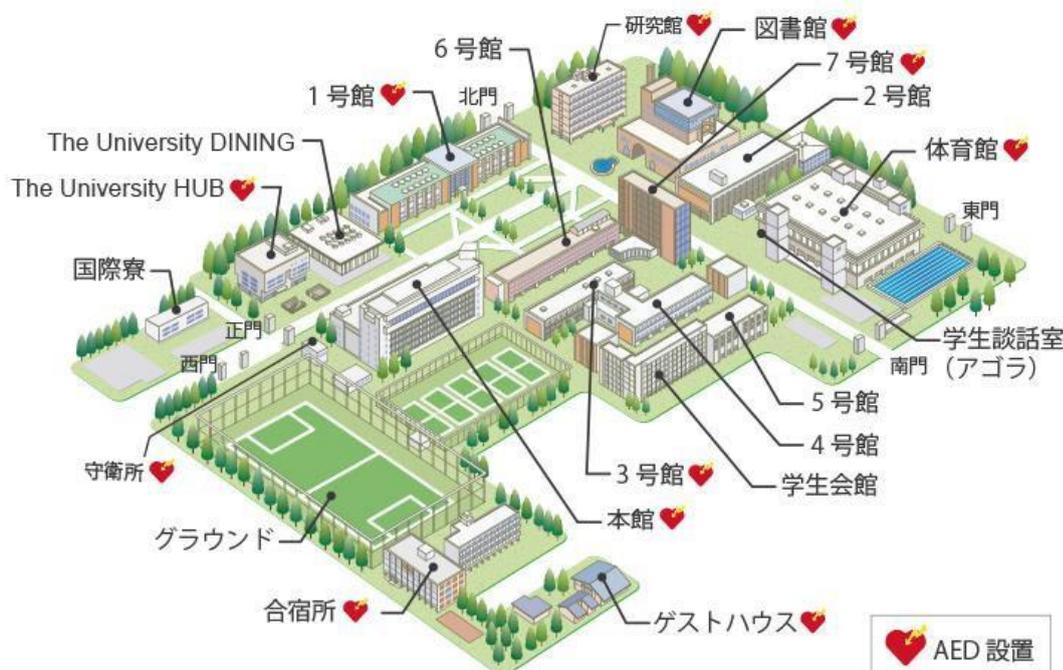
教室の確認

教室の場所はCUC PORTAL「学生時間割表」で確認することができます。

月 4
<input type="checkbox"/> 研究I/研究IB
教員名
645教室

教室は、授業期間中、履修者数やその他の事情で変更になる場合があります。特に、学期のはじめは注意してください。教室の変更は、CUC PORTAL で確認できます。

遠隔・リアルタイム型の授業についても、リアルタイム受講用教室を表示しています。大学内で遠隔・リアルタイム授業を受講する場合は指定の教室で受講してください。



教室番号は 1 文字目の「号館」と 2 文字目の「階数」の組合せになっています。

(例) 教室名	説明
<u>1</u> <u>2</u> 0 3 教室	<u>1号館</u> <u>2階</u> にあります
<u>2</u> <u>3</u> 1 教室	<u>2号館</u> <u>3階</u> にあります
<u>7</u> <u>0</u> 2 教室	<u>7号館地下</u> にあります
<u>H</u> <u>3</u> 1 教室	<u>The University HUB</u> <u>3階</u> にあります

以下の教室は、教室名から号館・階数が分かりにくい教室です。ご注意ください。

教室名	場所
化学実験室	2号館3階
商品学実験室	
324PC室(旧第6コンピュータ実習室)	3号館2階
325PC室(旧第7コンピュータ実習室)	
326PC室(旧第8コンピュータ実習室)	
327PC室(旧第9コンピュータ実習室)	
H31教室	The University HUB 3階
H32教室	
H33教室	
指定場所 ※「基礎体育学実習」「体育学実習」などの履修時に表示されます	※告示や掲示にて詳細を確認してください

⑧授業を受講する

以下について確認の上、授業を受講してください。

- ・ 出席登録
- ・ 遠隔授業の受講
- ・ 休講・補講
- ・ 課題の提出
- ・ 教員への連絡・質問
- ・ 欠席の扱い
- ・ 不正行為
- ・ 授業の受講以外の対応

CUC PORTAL の作業手順や方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル (学生向け)



出席登録

大学では、授業の出席確認は授業担当教員に一任されているため、出席登録の有無や方法は授業により異なります。以下のパターンを参照の上、各授業にて出席登録の有無・方法を確認してください。

なお、必修科目や出席を調査する科目の場合、その授業の欠席回数によって、保証人に対し、出欠状況を知らせる通知が出され、注意喚起が行われることがあります。授業内容を理解するためには出席することが大切ですので、授業には毎回出席するようにしてください。

パターン	出席確認方法
出席登録を行うパターン	CUC PORTAL の「出席登録」の利用や出席カード等配布物の回収等によって出席を確認します。 CUC PORTAL 「出席登録」を利用した出席確認の場合、スマートフォンまたはパソコンが必要になりますので、担当教員の指示に従ってください。
出席登録を行わないパターン	出席を確認しない場合や、課題やレポートの提出をもって出席とみなす場合などがあります。詳細な出席確認方法については担当教員の指示に従ってください。

遠隔授業の受講

本学では面接形式で授業を行うことを基本としていますが、一部の科目については、遠隔形式で行われます。

遠隔形式とは、各自で PC やスマートフォンを利用して授業を受ける形式です。自宅や学内で受講することができます。

遠隔形式は「リアルタイム型」と「オンデマンド型」に区分されます。以下の通り、受講方法が異なりますので、確認したうえで授業を受講してください。

遠隔形式の授業の確認方法

遠隔形式の授業は、CUC PORTAL「学生時間割表」で次のように科目名の後ろに授業形式が記載されます。

	月曜日	火曜日
2		健康科学 【リアルタイム】 藤野 和樹 1103教室 9101069 2単位

オンデマンド

授業科目	教員氏名	教室
1106004 商学入門 【オンデマンド】	越川 靖子	遠隔授業

遠隔形式の種類	受講方法	曜日・時限の指定	大学内で受講する場合の受講場所指定
リアルタイム型	Teams などのオンライン会議機能を利用して、時間割表の授業時間に受講する授業です。授業によっては、Zoom を利用する授業もあります。	<u>指定あり</u>	<u>指定あり</u> 「学生時間割表」に教室名が表示されます。 学内で受講する場合は、必ずヘッドセット（マイク付きイヤホン含む）を利用してください。
オンデマンド型	各自で動画教材や音声教材を視聴して受講する授業です。	<u>指定なし</u>	<u>指定なし</u> 曜日・時限の指定がないため、受講場所は指定していません。

「リアルタイム型」の受講方法	
初回授業の参加方法	<p>・ CUC PORTAL の「クラスプロフィール」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。</p> <p>▼ 「クラスプロフィール」の確認方法 ▼</p>  
「出席登録」を利用した出席確認	<p>面接形式の授業と同様、CUC PORTAL 「出席登録」の機能を利用する場合があります。（利用有無は教員により異なります）</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学修に適した環境で受講してください。 ・ アルバイト中にスマートフォンで参加するなど不適切な環境で授業参加し、懲罰の対象となった事例があります。 ・ 都合により受講環境が準備できない場合、担当教員に相談してください。

「オンデマンド型」の受講方法	
初回授業の参加方法	<p>・ CUC PORTAL の「クラスプロフィール」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。</p> <p>▼ 「クラスプロフィール」の確認方法 ▼</p>  
「出席登録」を利用した出席確認	<p>曜日・時限の指定がないため、「出席登録」を利用した出席確認は行いません。出席確認の代わりに、課題の提出状況などで受講状況が把握されます。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドとは「いつでも好きな場所で」といった意味ですが、本学のオンデマンド授業は「いつでも」というわけではありません。 ・ 授業各回について、受講開始日（授業資料の公開日）と受講終了日（課題提出の締切日）が定められており、この期間内に受講する必要があります。 ・ 授業各回の受講期間は約 1 週間です。面接形式の授業と同様の進捗となります。 ・ 期間内であれば「いつでも好きな場所で」受講できる授業ですが、一方で、自分 1 人で学修するという意思をもって受講しなければなりません。事前に受講する時間や場所を定め、計画的に受講しましょう。

休講・補講

以下の場合、授業が休講になります。休講になった授業は、別日で補講が実施されます。
各パターンにおける休講・補講通知方法をご確認ください。

授業が休講になる場合	休講・補講通知方法
教員の都合により急遽授業が休講になった場合 休講等の掲示が配信されていないにもかかわらず、授業開始時刻から 30 分経過しても担当教員が教室に来ない等、授業が開始されない場合 ※この場合は教務課へご連絡ください	休講および補講について CUC PORTAL 「掲示板」で掲示配信されます。
台風や暴風・豪雨等の自然災害等により、交通機関等に支障が出ると予想される場合	休講については、本学 Web サイトのトップページに「お知らせ」が出されますので、それを確認し、その指示に従ってください。 補講については、授業担当教員の判断により実施有無が決定されます。必ず授業担当教員に確認し、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q 補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。

補講の実施日時は、CUC PORTAL 「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。
補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は[学事カレンダー](#)を参照してください。

原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。

- A
- ・月 1 回補講日として設定された土曜日
 - ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限

補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。
実施形式は「掲示板」で確認してください。

? 休講・補講の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル (学生向け)

「2. 掲示を確認する」

課題の提出

レポートなどの課題提出については担当教員の指示に従ってください。

提出した課題は、授業終了後、成績評価が終了するまで必ず保存しておいてください。

CUC PORTAL「課題提出」の「ウェブ提出」の場合、入力途中の内容を誤った操作によって紛失してしまうことがあります。課題作成の際は、まず Word など文章ファイルにて内容を作成し、その内容をブラウザへコピー＆ペーストする形で提出してください。

? CUC PORTAL「課題提出」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 課題を確認・提出する」

教員への連絡・質問

以下のような授業に関する連絡や質問は、担当教員に直接、CUC PORTAL「授業 Q&A 登録」で行ってください。別途、担当教員から「授業 Q&A 登録」以外の方法で連絡するよう指定があった場合は、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。

基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。
以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。

A

担当教員に「授業Q&A」で連絡する内容例

- ・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。
- ・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。
- ・ 課題の提出方法が分かりません。
- ・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。
- ・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。
- ・ 授業内容について質問したいことがあります。

? 「授業 Q&A 登録」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 教員へ質問をする／授業 Q&A 登録」

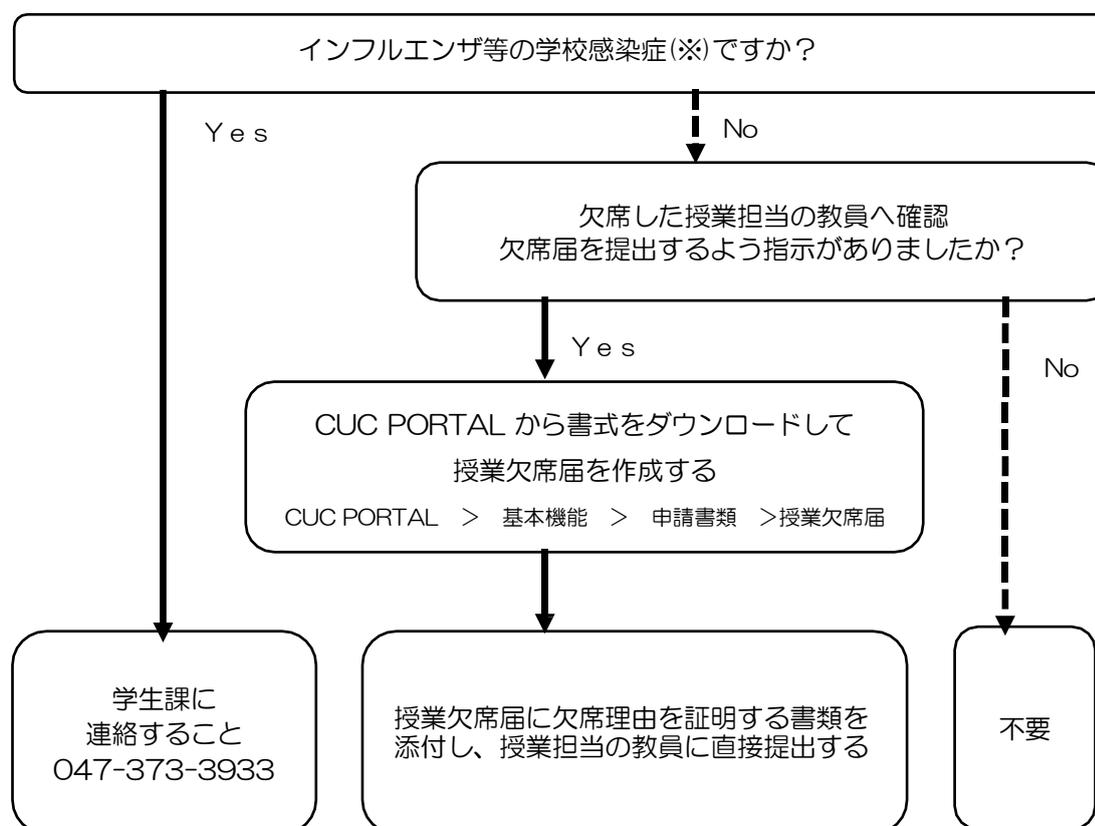
欠席の扱い

授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に直接報告し、担当教員の指示に従ってください。

担当教員から指示があった場合には、CUC PORTAL に「授業欠席届」がありますので、ダウンロード後、各自で作成し、授業担当教員に提出してください。詳細については、以下「授業欠席届の提出」フローを参照し、各自対応してください。

なお、学校保健安全法に定める感染症等の病気で授業を欠席する（した）場合は、所定の手続きを行うことで欠席の回数から除外されます。治癒後、登校を開始する場合は、本学所定の「登校許可証明書(法定感染症)」又は医療機関の「診断書」を学生課に提出してください。

◆授業欠席届の提出フロー



※学校感染症とは、学校において予防すべき感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳、麻疹、おたふくかぜ等)です。

詳細は、本学 Web サイト内の「感染症による出席停止等について」を参照。

- ・ 欠席を証明する書類や教員への連絡方法等で不明な点があれば教務課(047-373-9754)にご相談ください。
- ・ 欠席期間が長期にわたり休学等を希望する場合は、学生課に連絡してください。

学生課の連絡先：電話 047-373-3933 / メール gakstf@cuc.ac.jp

不正行為

授業時の試験等において、千葉商科大学学生懲戒規程第5条に該当する行為を行った場合、不正行為とみなし、しかるべき手続きに則り懲戒処分とします。

レポートを執筆する際、出典を明記しないで引用するなどの行為も不正行為となります。絶対に行ってはいけません。

レポートの執筆方法や行ってはいけないことについては、1年次の必修科目で学修しますので、必ず留意しましょう。

授業の受講以外の対応

【授業評価アンケート】

本学では、学生の授業における満足度を高め、教育の質的向上を図るため、各学期末の授業時間中に、履修学生を対象とした授業評価アンケートを実施しています。

このアンケート調査は、その結果に基づき、授業の内容や方法の改善、学生の授業満足度の向上など、授業をより良くするためのものですので、調査への回答に協力してください。

【学修ポートフォリオ】

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Webを用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うためのWebシステムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

【オフィスアワー】

各学部に所属する専任教員は、オフィスアワーを設けています。オフィスアワーとは、教員が授業を担当する時間以外に、学生の個人指導や相談にあたる時間のことです。

オフィスアワーでは、専任教員が授業の学修についての質問、学生生活全般、資格取得、就職活動等、様々な相談に応じますので、積極的にこの時間を活用してください。

なお、オフィスアワーの時間帯は、学期の初めにCUC PORTAL（履修関連 > オフィスアワー）でお知らせします。

成績

大学では単位制が採用されています。単位制とは、授業科目ごとに一定の基準により、単位数が決められており、その授業科目を履修し、授業に出席し、教員ごとに定めた評価方法により合格した場合、所定の単位が認定される制度です。

大学における学修の達成度は、修得された単位数をもとに判定されます。

卒業するためには、所定の単位数（124 単位以上）を修得することが必要です。

⑨成績公開日程・確認方法を知る

成績の公開時期

2024 年度秋学期の成績は以下日時に公開されます。

学期	成績公開日時
2024 年度 秋学期	2025 年 2 月 14 日(金)10:00

※授業期間外（休暇期間中）に開講される集中授業を履修する場合、集中授業の成績は上記とは別の日時に成績公開される可能性があります。

? 成績の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「6. 成績を確認する／成績照会」

Q A よくある問い合わせ

Q 成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。

成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。

A [▶ 本学 Web サイト > 学生生活 > 学費・支援制度 > 授業料減免制度](https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html)
<https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html>



成績評価・成績表記

成績評価および成績表記は、以下の通りです。

成績評価基準は、科目により異なります。各科目のシラバスにて成績評価の基準を確認してください。

判定	合格				不合格	認定	編入学時認定
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0		
成績評価	S	A	B	C	F	T	T
成績証明書 (評語)	S	A	B	C	記載しない	T	T

注：「T」（単位認定、編入学時認定及び再入学時単位認定）は、単位認定制度等により認定を受けた授業科目及び編入学生が本学入学前に他の大学等により修得した単位を包括的または個別に認定した授業科目について表記されます。

GPA（成績平均点数制度）

本学では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA（Grade Point Average：成績平均点数制）による成績・単位修得状況評価を行っています。

GPA は、それぞれの評価に設定されたグレードポイント（GP）に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されます。

就職活動における企業の採用基準に GPA や成績評価を取り入れる企業は増えてきています。一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するようにしてください。

CUC PORTAL 上の成績照会画面より、その学期の GPA と累積の GPA を確認できます。

なお、GPA は、主に以下の事項について活用しています。

ア. 選考、選抜

成績優秀者の選考、給費生の継続給費基準、卒業代表者選考、派遣交換留学生の選抜等に使用される場合があります。

イ. 学生個人の学修指導

総修得単位数及び GPA が一定基準を下回った学生に対しては学修への取組みに対する注意喚起や指導を行います。

◆GPA の算出方法

判定	合格				不合格	認定	編入学 時認定
成績評価	S	A	B	C	F	T	T
グレードポイント (GP)	4.0	3.0	2.0	1.0	0	—	—

《GPA の計算式》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{取得単位} \times \text{グレードポイント}) \text{の総和}}{\text{総履修単位数}}$$

注：総履修単位数には、成績評価が「T」（認定）及び卒業要件外科目（教職課程科目、自由科目等）の単位数は含まれません。

◆GPA の算出例

科目名	単位数	評価	単位数×グレードポイント
哲学	2	B	2×2=4
憲法	2	F	2×0=0
〇〇学概論	2	S	2×4=8
△△総論	2	A	2×3=6
××経済学	2	F	2×0=0
英語	1	C	1×1=1
合計	11	—	19

$$\text{GPA} = \frac{19}{11} = 1.72 \quad \text{※小数点第3位を切り捨て}$$

⑩成績について教員に問い合わせる

成績問い合わせ制度

授業への取組や出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度です。

授業担当教員に成績評価の確認を依頼する場合は、以下の内容に従って、所定の期間内に手続を行ってください。

【成績問い合わせ期間】※期間外の申し出や電話及びメール等による問い合わせには一切応じません。

学期	成績問い合わせ期間	【参考】2024 年度秋学期 成績公開日時
2024 年度 秋学期	2025 年 2 月 14 日(金)10:00 ~2 月 17 日(月)12:00	2025 年 2 月 14 日(金)10:00

【成績問い合わせ方法】

手順	対応内容																
1	<p>CUC PORTAL「アンケート回答」を確認する</p> <p>CUC PORTAL > 基本機能 > 回答 > アンケート回答</p> 																
2	<p>アンケート「【全学部】2024 年度秋学期成績問い合わせ申請」に回答する</p> <p>【アンケート回答項目】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th> <th>入力すべき回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員氏名</td> <td>(例) 千葉商太 ※フルネームで記載</td> </tr> <tr> <td>授業コード</td> <td>(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字</td> </tr> <tr> <td>科目名</td> <td>(例) 体育科目 (バドミントン)</td> </tr> <tr> <td>曜日時限</td> <td>(例) 月曜日 時限</td> </tr> <tr> <td>現在の評価</td> <td>成績照会に記載されている評価を選択</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択</td> </tr> <tr> <td>自己評価に至った理由および問い合わせ事項</td> <td>※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。</td> </tr> </tbody> </table>	回答項目	入力すべき回答	教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載	授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字	科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)	曜日時限	(例) 月曜日 時限	現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択	自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択	自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。
回答項目	入力すべき回答																
教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載																
授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字																
科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)																
曜日時限	(例) 月曜日 時限																
現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択																
自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択																
自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。																

手順	対応内容						
	<p><悪い例・受け付けできない例></p> <p>①友人より出席しましたし、テストも受けました。自分より出席していない友人が受かっているのに、自分が落ちた理由が分かりません。 →他者と比較している。試験についての自己評価が具体的に記載されていない。</p> <p>②積極的に受講しました。 →具体的な取り組みが記載されていない。</p> <p>③内定を得ていますが、このままでは卒業ができないため、どうか評価の見直しをお願いします。 →個人的事情が入っている上に、救済を求めている。</p> <p>④単位取得のため、再度課題を与えてください。 →成績評価に関する問い合わせではない。救済を求めている。</p> <p>⑤授業内の試験結果が知りたいです。 →試験に対する自己評価が記載されていない。</p> <p>⑥全授業に出席しました。課題は期限内に提出したのに評価が F の理由が知りたいです。 →授業への取り組みや課題に対する自己評価が記載されていない。</p>						
3	<p>CUC PORTAL「掲示板」で問い合わせ結果を確認する</p> <p>【問い合わせ結果配信期間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>問い合わせ結果配信期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年生のうち8 Semester以上在学している者</td> <td>2月28日(金)10:00~3月31日(月)23:59</td> </tr> <tr> <td>1~3年生及び、4年生のうち7 Semester在学している者</td> <td>3月7日(金)10:00~3月31日(月)23:59</td> </tr> </tbody> </table>	対象	問い合わせ結果配信期間	4年生のうち8 Semester以上在学している者	2月28日(金)10:00~3月31日(月)23:59	1~3年生及び、4年生のうち7 Semester在学している者	3月7日(金)10:00~3月31日(月)23:59
対象	問い合わせ結果配信期間						
4年生のうち8 Semester以上在学している者	2月28日(金)10:00~3月31日(月)23:59						
1~3年生及び、4年生のうち7 Semester在学している者	3月7日(金)10:00~3月31日(月)23:59						

Q A よくある問い合わせ

Q 成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいか。

教員には直接問い合わせないでください。

成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。

A なお、成績問い合わせは授業への取組や貢献度、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

⑩証明書を発行する

成績証明書や卒業見込証明書等の各種証明書は、証明書発行サービスからオンライン申請し、コンビニのマルチコピー機を利用して受け取ることができます。

取得方法の詳細については、本学 Web サイトで確認してください。なお、証明書の種類によっては交付に要する日数がかかる場合がありますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

本学 Web サイト > 学生生活 > 証明書の発行

<https://www.cuc.ac.jp/campus/certificates/index.html>



発行可能な主な証明書は、以下の通りです。

証明書の種類	取得可能条件	2024 年度発行開始日
在学証明書	在学していること（休学者は除く）	春学期：4 月 5 日(金) 秋学期：10 月 7 日(月)
成績証明書	単位を修得していること	
卒業見込証明書	定められた単位数以上の単位を修得している 4 年生	
健康診断証明書	当該年度に定期健康診断を受診し、発行条件を満たしている学生	5月22日(水)

Q A よくある問い合わせ

もっと詳しく知りたい人は、CUC PORTAL > 基本機能 > 証明書 > 証明書に関するQ&A を確認！

Q 各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。

A コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は 1 週間程度かかる場合があります。

Q 卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。

A 卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を 1 部贈呈します。2 部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。

Q 単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。

A 単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。
例) 2024 年度春学期に単位修得した科目・成績は、2024 年 10 月 7 日 (月) 以降に発行する成績証明書に記載されます。

Q 証明書をデータで受け取りたい。

A 提出先に直接 PDF ファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書（紙）を PDF ファイルに変換してください。

卒業

⑫卒業生発表日程を知る

卒業は、修業年限を満たし、かつ、卒業に必要な単位を修得した学期末で認定されます。

卒業生発表・学位記授与式日程

卒業生の発表および学位記授与式は、以下日程で行います。詳細は、CUC PORTAL 告示を確認してください。

なお、卒業生発表については、個人情報保護の観点から、電話での問い合わせは一切応じませんので、各自告示を確認してください。

対象	内容	日程等	CUC PORTAL 告示件名 ※告示番号未定
2025 年 3 月 卒業生	卒業生発表日時	2025 年 3 月 10 日(月)10:00	【全学部】告●号※_2025 年度 3 月卒業確定者について
	学位記授与式	2025 年 3 月 20 日(木)午後	【全学部】告●号※_ (2025 年 3 月卒業見込者対象) 3 月学部卒業確定者等発表および 3 月学部学位記授与式の開催について

授与される学位

各学部・学科を卒業し、授与される学位は以下の通りです。

学 部	学 科	学 位
商経学部 Faculty of Commerce and Economics	商学科 Department of Commerce	学士（商学） Bachelor of Commerce
	経済学科 Department of Economics	学士（経済学） Bachelor of Economics
	経営学科 Department of Business Administration	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
政策情報学部 Faculty of Policy Informatics	政策情報学科 Department of Policy Informatics	学士（政策情報学） Bachelor of Policy Informatics
サービス創造学部 Faculty of Service Innovation	サービス創造学科 Department of Service Innovation	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
人間社会学部 Faculty of Humanities and Social Sciences	人間社会学科 Department of Humanities and Social Sciences	学士（人間社会学） Bachelor of Humanities and Social Sciences
国際教養学部 Faculty of Global Studies	国際教養学科 Department of Global Studies	学士（国際教養学） Bachelor of Global Studies

千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」

～カリキュラムマップを活用した体系的で計画的な学修に向けて～

本学では、ディプロマ・ポリシーに基づき、本学として育成する力である「高い倫理観」「幅広い教養」「専門的な知識・技能」を「CUC3つの力」として定めるとともに、「CUC3つの力」を構成する能力要素を「CUC6つの能力要素」として定め、カリキュラムを編成しています。

4年間の学修を通じて、「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」を身につけ、社会の発展に貢献できる人材へと成長してください。

千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」



【ディプロマ・ポリシーより】

<高い倫理観>

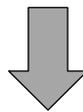
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

<幅広い教養>

- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

<専門的な知識・技能>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力



「CUC3つの力」は、以下の6つの能力要素（CUC6つの能力要素）からなります。

<CUC3 つの力>	<CUC6 つの能力要素>
高い倫理観	社会規範意識・誠実さ
	主体性・責任感
	チャレンジ精神・実践力
幅広い教養	相互理解・コミュニケーション力
	普遍的な知識・技能
専門的な知識・技能	専門的な知識・技能

カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ

本学では、学生のみなさんが体系的・計画的に学修を進めることができるように、「カリキュラムマトリクス」と「カリキュラムマップ」を作成しています。

カリキュラムマトリクス

カリキュラムマトリクスとは、学生のみなさんが履修する各科目と「CUC6つの能力要素」との対応関係を図示したものです。カリキュラムマトリクスにより、自身の身につけたい力・能力要素が、どの科目を履修・修得することで身につけることができるかを一目で把握することができます。また、各科目で身につけることができる能力要素については、シラバスでも確認することができます。

<カリキュラムマトリクス イメージ図>

授業科目名	学問分野	学問分野コード	レベルコード	ナンバリングコード	専門的な知識・技能	幅広い教養		高い倫理観		
					専門的な知識・技能	普遍的な知識・技能	相互理解・コミュニケーション力	チャレンジ精神・実践力	主体性・責任感	社会規範意識・誠実さ
科目区分	〇〇概論				◎					○
	△△入門					◎		○	○	
	科目名称						○		◎	
	科目名称					○	○			◎
	科目名称					○		◎	○	
	科目名称					○	◎			○

※学問分野コード、レベルコード、ナンバリングコードは、「ナンバリング」の項目を参照してください。

<シラバス イメージ図>

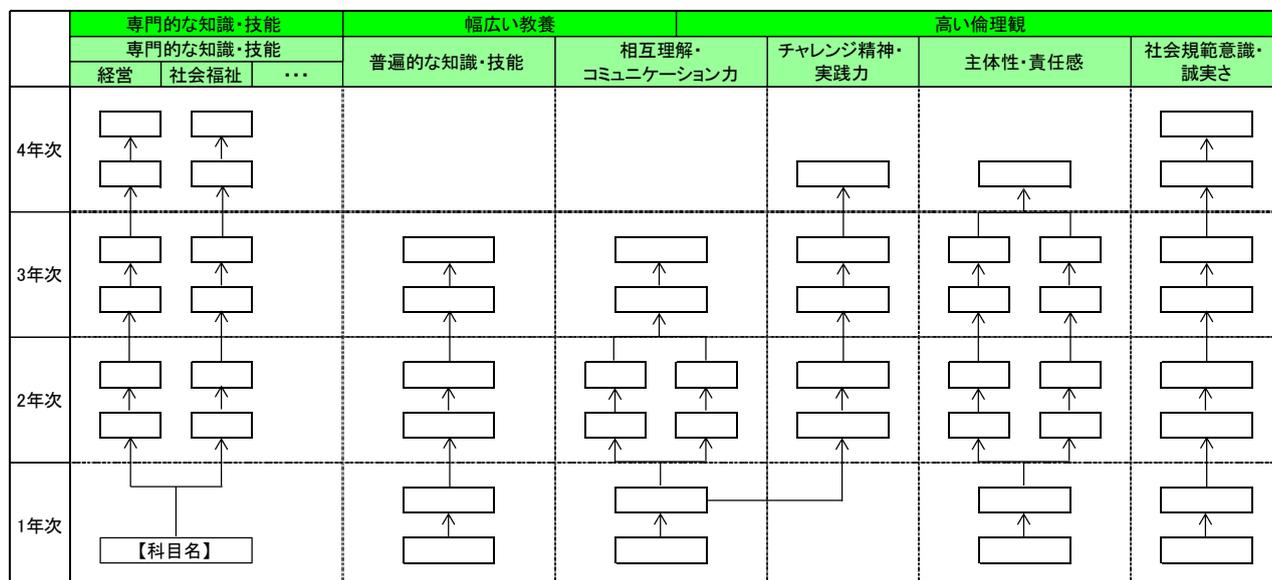
科目名	〇〇概論
担当教員名	
・・・	
この授業を通じて身につける〈CUC6つの能力要素〉（主として身につけるもの「◎」を1つ、身につけるもの「○」を2つ以内）	
専門的な知識・技能	普遍的な知識・技能 ◎ 相互理解・コミュニケーション力
チャレンジ精神・実践力	主体性・責任感 社会的規範意識・誠実さ ○
CUC6つの能力要素	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html
科目概要	
科目の到達目標	

※カリキュラムマトリクスおよびシラバスについては、本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、「科目間の順次性・関連性」を一目で把握できるように、各学部・学科のカリキュラムを体系的に図示したものです。カリキュラムマップにより、学修したい分野についてどのように学修を進めていけば良いかなどが明確になり、体系的・計画的に学修を進めることが可能となります。

<カリキュラムマップ イメージ図>



※カリキュラムマップの形式は学部・学科によって異なります。本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップは、科目間の順次性・関連性を図示していますが、必ずしも順番どおりに履修をしなければいけないという訳ではありません。

一部の科目では、ある科目を修得していなければ履修できないというものもありますが、履修したい科目の履修条件を満たしていれば、矢印（→）の前の科目を修得していなくても履修することは可能です。各科目の履修条件については、[履修にあたり条件がある科目について](#)に記載がありますので、カリキュラムマップと履修ガイド・シラバスを適宜参照し、みなさんの学修したい分野について積極的に学修を進めてください。

学修ポートフォリオ

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Web を用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うための Web システムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web 上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

ナンバリング

ナンバリングとは、科目ごとに適切なナンバーを付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。学問分野やレベル、学修順序等に応じて特定のナンバーを付与しています。シラバスにも記載していますので、科目選択の参考としてください。

<ナンバリングコードの構成>

AB - DEF | 001

① ② ③ ④

<ナンバリングコードの名称・意味>

- ① 開講部局コード：基盤教育機構、学部を 2 文字の略称で表示します。
- ② 学問分野コード：学問分野を 3 文字の略称で表示します。
- ③ レベルコード：授業科目のレベル分けを数字で表示します。
- ④ 整理コード：001～999 までの数字で表示します。

各コードの詳細については、本学 Web サイトを参照してください。

学籍

修業年限と在学年限

修業年限とは、入学してから卒業するまでに必要な最低修学年数で、通算 4 年と定められています。(学則第 36 条)

在学年限とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算 8 年と定めています。(学則第 37 条)

修業年限 通算 4 年 (8 学期)	在学年限 通算 8 年 (16 学期) 以内
--------------------	------------------------

ただし、3 年次編入学生の場合は、4 年を超えて在学することはできません。(学則第 37 条)

休学

疾病その他やむを得ない理由により、2 か月以上修学できない者は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により休学することができます。(学則第 31 条)

休学できる期間の単位は、1 学期または 1 年以内ですが、休学の理由が消滅しない場合は、保証人連署で改めて休学を学長に願い出ることができます。

ただし、休学期間は連続して 2 年、通算して 4 年を超えることはできません。なお、休学期間は上述の在学期間には算入しません。(学則第 32 条第 2・3 項)

復学

休学期間が満了し、休学の理由が消滅した場合は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により復学することができます。

ただし、復学は休学した学年とし、時期は学期のはじめとします。

退学

疾病その他やむを得ない理由により退学を希望する者は、保証人連署で、その理由を付して願い出て、学長の許可により退学することができます。その際、理由が疾病である場合は医師の診断書を添えなければなりません。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

- (1) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 学則第37条に定める在学年限を超えた者。但し、学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた者は除く。

- (3) 学則第32条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- (5) 当該年度の入学許可者のうち、入学意思のない者

懲戒

本学の規則に違反または学生の本分に反する行為をした者は、学長が懲戒（退学、停学、訓告）します。

転部・転学科

転部とは、現在所属する学部から他の学部に移籍することを言い、転学科とは、現在所属する学部の学科から同じ学部の他の学科に移籍することを言います。

転部・転学科を希望する者は、前年度の 11 月～12 月の所定の期日までに学長に願い出なければなりません。詳しくは教務課までご相談ください。

再入学

本学を退学または除籍になった者で、本学への再入学を希望する者は、所定の手続きを経て、各学部・学科が定める試験を受験し、合格すれば再入学することができます。

再入学を希望する者は、再入学を希望する年度の前年度 11 月～12 月の所定の期日までに学長に出願書類を提出しなければなりません。出願前には必ず教務課にて出願の資格があるか確認してください。

おすすめ検索キーワード集

パソコンにて本データを参照している場合、PDFの「テキストまたはツールを検索」【Ctrl + F】でキーワード検索が可能です。

分からない・気になるキーワードがあれば、検索してみてください。

以下、参考となるキーワードをご参照ください。

区分	おすすめキーワード
履修	い 一次履修登録期間（抽選）
	こ コース ※商経・政策情報学部のみ
	さ 再履修
	さ 三次履修登録期間（修正）
	し シラバス
	じ 事前履修
	じ 自由科目
	じゅ 授業科目配当表
	じゅ 授業時間割表
	しよ 初級簿記 ※商経・人間社会学部のみ
	せ 選択必修科目
	せ 選択科目
	そ 卒業要件
	た 単位認定
	た 体育
	ちゅ 抽選科目
	に 二次履修登録期間（先着）
	ひ 必修科目
	り 履修できる科目
	り 履修できない科目
り 履修にあたり条件がある科目	
り 履修上限単位数	
授業	え 遠隔授業
	お オンデマンド
	か 化学実験室
	か 課題
	が 学生時間割表
	が 学事カレンダー
	きゅ 休講
	きよ 教室

区分	おすすめキーワード
授業	きよ 教科書
	きよ 教員への連絡・質問
	く クラスプロファイル
	け 欠席
	しゅ 出席
	じゅ 授業時間
	ほ 補講
	り リアルタイム
	成績
ざ 在学証明書	
じ GPA	
しよ 証明書	
せ 成績公開	
せ 成績問い合わせ	
せ 成績証明書	
そ 卒業見込証明書	
ひよ 評価	
卒業	が 学位記授与式
	そ 卒業生発表

内容別 事務問い合わせ先

内容により担当部署が異なります。下表を確認のうえ担当部署に問い合わせをしてください。

<p style="text-align: center;">教務課</p> <p style="text-align: center;">047-373-9754 kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp</p>	<p style="text-align: center;">学部事務課</p> <p style="text-align: center;">047-382-5205 office-gkb@cuc.ac.jp</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割 ・ 履修登録 ・ 成績 ・ 単位認定 ・ 授業（休講・補講） ・ 卒業研究論文提出に関すること ・ CUC PORTAL の操作に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内短期研修（奄美研修） ・ 海外文化研修（フレッシュマンキャンプ） ・ 海外短期研修、海外フィールドワーク実習などの各種留学プログラム ・ ケンブリッジ英語検定（リングスキルテスト） ・ GPS -Academic テスト ・ 卒業研究発表会に関すること ・ プロジェクト演習に関すること ・ その他（学部独自の学修プログラム等）

よくある問い合わせ まとめ

①履修登録日程・流れを知る

Q 一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。

A 二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q 履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。

A 履修登録期間外は、一切履修を変更できません。
履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上ご判断ください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。

A 履修登録が完了していない科目は、出席できません。
ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。

A 履修登録完了後、担当教員にお問い合わせください。教員によっては、すでにクラスプロフィール授業資料などから資料を公開している可能性もございます。

Q 履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。

A 履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

Q 他学部の科目を履修したいが、履修可能か。

A 原則、他学部の科目は履修できません。履修できる科目は、[授業科目配当表](#)に記載のある科目となります。
授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。

Q 必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。

A 再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。
再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は[再履修科目](#)を参照してください。

Q 単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。

A 申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。
(第1期：9/30(月)頃まで 第2期：10/7(月)頃)

Q 申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。

A Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

Q 1度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。

A Microsoft Forms による申請は1人1回のみとなります。
申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。

Q 指定 URL をクリックしても Microsoft Forms にログインできない。

A Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。
まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。
申請期間中にも関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。
(○○○○○○@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

④自分の授業時間割を組む

Q	履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。
A	事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q	時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q	必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。
A	学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は 再履修科目 を確認してください。

Q	自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいか分からない。
A	学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q	科目名の末尾に I・II、(1)・(2)等がついている科目について、I、(1)の単位を修得していなくても II、(2)を履修登録できるのか。
A	学部で条件が定められていなければ履修登録することができますが、II、(2)を履修する場合、I、(1)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。 学部で条件が定められている科目については 履修にあたり条件がある科目について を参照してください。

Q	シラバスを検索しても科目の情報が出ないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがないか確認してください。 正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q シラバスに記載されている「先修科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。

A 「先修科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得していた方がより科目内容を理解できるということです。

Q 学年が1年となっている科目は1年次しか履修できないか。

A 学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は[授業科目配当表](#)を参照してください。

⑤履修登録を行う

Q 抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。

A 上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。
履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修登録科目の単位数も含めますので注意してください。
間違えて申し込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q 抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。

A 落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていません）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q 抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。

A 抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

Q ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。

A 休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

⑦授業の準備をする

Q 科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。

A シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

⑧授業を受講する

Q 補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。

A 補講の実施日時は、CUC PORTAL「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は[学事カレンダー](#)を参照してください。

原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。

- A
- ・月 1 回補講日として設定された土曜日
 - ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限

補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。実施形式は「掲示板」で確認してください。

Q どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。

A 基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。

担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例

- A
- ・授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。
 - ・授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。
 - ・課題の提出方法が分かりません。
 - ・（何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。
 - ・課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。
 - ・授業内容について質問したいことがあります。

⑨成績公開日程・確認方法を知る

Q 成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。

A 成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。

A

▶本学 Web サイト>[学生生活](#)>[学費・支援制度](#)>[授業料減免制度](#)
<https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html>



※商経学部のみ対象

Q レクチャー科目群「その他」はレクチャー科目群の必要単位の 54 単位に含まれるのか。それとも任意選択科目の 28 単位に含まれるのか。

レクチャー科目群の修得済み単位数のうち、科目分類「その他」には、副専攻コースの修得済単位数が重複してカウントされています。

下図の例の場合、科目分類：【その他】の修得済単位数は 30 単位となっていますが、副専攻コースの修得済単位数（8 単位）が重複してカウントされているため、科目分類：【その他】の実際の修得済単位数は 22 単位となりますので、注意してください。

<解説> レクチャー科目 = 学部共通 + 学科基礎 + 主コース + 副コース + (その他 - 副コース) となるので、下図の場合、56 単位 = 10 単位 + 4 単位 + 12 単位 + 8 単位 + (30 単位 - 8 単位) となります

A

科目分類	卒業要件単位	修得済単位	履修中単位	合計単位
レクチャー	54	56	0	56
学部共通	10	10	0	10
学科基礎	4	4	0	4
選択必修	4	4	0	4
選択	0	0	0	0
主コース	12	12	0	12
副コース	8	8	0	8
その他	0	30	0	30
セミナー	14	6	0	6
単位互換	0	0	0	0
教職専門		2	0	2
自由科目		8	0	8

⑩成績について教員に問い合わせる

Q 成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいか。

教員には直接問い合わせないでください。

成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。

A なお、成績問い合わせは授業への取組や出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

①証明書を発行する

Q 各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。

A コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は1週間程度かかる場合があります。

Q 卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。

A 卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を1部贈呈します。2部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。

Q 単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。

A 単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。
例) 2024年度春学期に単位修得した科目・成績は、2024年10月7日(月)以降に発行する成績証明書に記載されます。

Q 証明書をデータで受け取りたい。

A 提出先に直接PDFファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書(紙)をPDFファイルに変換してください。